

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 —教室年報：2022—

Department of Gastroenterological,
Breast and Endocrine Surgery
Annual Report 2022



火の山ロープウェイ（下関市）



*Department of Gastroenterological,
Breast and Endocrine Surgery
Annual Report 2022*



Contents



Page 1	巻頭言	教授	永野浩昭
Page 4	教室人事	医局長	飯田通久
Page 7	臨床報告（入院）	病棟医長	鈴木伸明
Page 8	臨床報告（外来）	外来医長	吉田 晋
	臨床報告（各グループ）		
Page 9		上部消化管グループ	
Page 12		下部消化管グループ	
Page 15		肝胆膵グループ	
Page 20		乳腺・内分泌グループ	
Page 22		腫瘍センター	
Page 23	教室関連研究会開催	報告	
Page 28	業績報告		
Page 29		英文論文	
Page 32		和文論文	
Page 33		国際学会発表・司会	
Page 34		国内学会発表・司会	
Page 44		地方会発表・司会	
Page 47		研究費取得状況	
Page 48		業績その他	
Page 51	Clinical and Research Conference	記録	
Page 52	研究者発表会議	記録	
Page 53	学位取得者報告		
Page 54	新入局者あいさつ		
Page 56	2022年 在籍教室員		
Page 58	学会専門医・指導医・評議員リスト		
Page 60	2022年 年間行事		
Page 75	編集後記		



巻頭言

山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学 教授

永野 浩昭
Hiroaki Nagano

巻頭言

2022年は、山口県にとって安倍元首相が凶弾にたおれるという大きな悲劇があり、何人たりとも、そしていかなる理由があろうとも、暴力による主義・主張の表現は許されざるものであることを改めて認識した年であった。その意味では、領土拡大や保持のために戦争という国家を挙げての暴力行為に及んだロシアのやり方については、決して認めてはならないことも、明白な事実であると言える。この国の外交・安全保障・防衛を改めて見直さざるをえない状況にあって、この領域において極めて高い実績と優れた理念を持たれていた安倍元首相を失ったことが、これからの日本にとってどれほどの損失であるかについては、いずれ後世によって検証されるのかもしれない。その一方で、今年も若い世代の活躍はめざましい。サッカーW杯での日本代表のドイツ、スペイン、撃破、さらにはMLB大谷選手の、ルース以来の2桁勝利2桁本塁打や、ヤクルト村上選手の56号本塁打、三冠王については、世代交代をひしひしと感じさせる、ある意味喜ばしい出来事であった。大谷選手、村上選手はいわゆるゆとり世代でもあり、日本人の学力低下が指摘された一方で、スポーツ界におけるゆとり教育はある一定の成果をあげたのかもしれない。

さて、消化器・腫瘍外科学講座のこの1年間を振り返ると、臨床においては、全消化器癌におけるロボット支援手術の導入、専門医主導の薬物療法と拡大切除による集学的治療の展開など、手術症例数は着実に伸び、山口県における消化器癌・乳癌診療における教室の立ち位置は確固たるものとなった。研究については、全教室員の学位取得を必須とし、大学院帰学後の2年間はベッドフリーで研究ができる体制は今も日常となり、さらに多施設との共同研究、臨床試験、臨床研究を積極的に展開し、JCOG(肝胆膵、食道、乳腺)の正規メンバーとしても一定の評価を得た。個人的には、JON-HBP(日本肝胆膵オンコロジーネットワーク)の代表理事として、肝胆膵領域癌の治療成績向上に向けて一層の努力を進めたい。また、現在、寄附講座はその期限を終了し、昨年末より研究指導體制を刷新、研究テーマを再構築し、継続的研究成果が出るように整備した。今後は、地道に業績を積み上げていくことが、課題となる。教育に関しては、解剖学講座、整形外科学講座との連携で開始したCCSTや共同獣医学部と設立したANIMAL-LAB、学部学生2年次におけるESS(早期外科体験実習)、また学生や若手外科医が常にシミュレーション実習を行うべく医明館7階に設置したサージカルトレーニングルームなど、シームレスでシークエンシャルな外科医生涯教育のための制度整備は充実した。

その一方で、医師の高齢化と不足に喘ぐ地方大学としての問題を背負う本学臨床講座としては、今以上に、いかに診療の活性化と質の向上を目指し、外科医を育てるのか、ということが最大の課題になる。つまり、過疎化、高齢化、など、本邦における地方のもつ課題を、医療・医学においても抱えていることは紛れもない。このような状況に対し、怯むことなく真正面から向き合いどのように取り組んでいこうかが、山口県の消化器外科・乳腺外科診療における教室としての重要な社会責務と考えている。

ただ、次世代の外科医からは、未来に向けて新たな消化器・腫瘍外科学講座を作り上げていくための素養が生まれ始めていることを強く感じているのも紛れも無い事実である。そして、そのためには、“常に理想を追求し、変化を求める誠実な思い”を持ち続けることが、彼らにとっても、そして教室にとっても、将来的な基盤になることは疑う余地もない。教室主任教授として、その息吹をこれからの光と信じ、日々の精進をおこたらぬように、高い志を忘れることのないように、彼らを叱咤激励し続けることが、残された日々の努めなのかもしれない。

医局員一同



佐伯晋吾

古谷圭

兼定弦

徳久晃弘

太田啓介

梅野紘希

堤甲輔

徐明

鍋屋まり

小佐々貴博

鄭桓宇

兼定航

西田裕紀

山本常則

松井洋人

新藤芳太郎

徳光幸生

西山光郎

中島正夫

中島千代

山田健介

渡邊裕策

前田訓子

飯田通久

武田茂

永野浩昭

井岡達也

鈴木伸明

恒富亮一

友近忍

日常の風景

カンファレンス風景



病棟回診風景



外来風景



教室人事



山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学 医局長

飯田 通久

Michihisa Iida

医局長を務めさせて頂いておりますH11年卒の飯田です。令和4年1月から12月の大学の人事異動は以下の通りです。

同年4月1日付で、S61卒の裕彰一先生が先端がん治療開発学から周南記念病院消化器外科主任部長として赴任しました。裕先生は入局されてから一貫して腫瘍免疫学を専門とされ、当科での多数の研究を主導されてきました。また大学院生の研究指導に関しても非常に熱心に取り組んでいただき、多数の医局員の学位取得に尽力され、感謝の念に堪えません。また臨床面では山口県の大腸外科を長きにわたって牽引していただいておりますが、今後は周南記念病院で地域のがん診療レベル向上にご活躍いただけるものと確信しております。またH17年卒の松隈聡が徳山中央病院外科部長として赴任しました。松隈先生は大学病院では肝胆膵グループに所属しており、臨床、研究両面で非常に精力的に仕事をされておりました。徳山中央病院では肝胆膵外科の専門知識を生かし、活躍してくれるものと思っております。H22年卒の木村裕太先生が当科よりセントヒル病院に赴任いたしました。セントヒル病院では手術や化学療法等の診療に加え、大学病院のサポート診療を積極的に行ってくれております。またH22年卒の藤原康弘が小野田赤十字病院医員として赴任いたしました。大学病院で得た知識、臨床経験を活かして地域での診療に励んでくれております。またR1年卒の金城尚樹が宇部興産中央病院に赴任しております。

また10月1日付でH11年卒の吉田晋先生が関門医療センター外科部長として赴任しました。吉田先生は2019年の帰学以後、大腸チームのメンバーとして活躍されたのと並行して、外科教育関連の仕事に尽力され、現在の当科における学生、若手医師教育の基礎を築いていただきました。今後は関門医療センターでもがん診療および教育でご活躍いただけるものと確信しております。またH30年卒の鈴木有十夢が下関医療センターに赴任しております。

帰学者および新入局に関してですが、同年4月1日付けで、H22年卒の山本常則先生がセントヒル病院から診療助教として帰学しました。前任地での1人外科部長としての経験から外科医として非常に成長しており、大学病院でも大変活躍してくれております。H27年卒の兼定弦が宇部興産中央病院から、H28年卒の西田祐紀が都志見病院から大学院入学にむけて帰学しました。両名ともすでに高い臨床力があるところを見せてくれておりますが、大学院での研究を経て、高い視点と広い視野をもった消化器外科としてこれからのさらなる成長を望みます。また、研究面では小佐々貴博と渡邊孝啓大学院に入学しました。根拠に基づく科学的考察力を持った消化器外科医へと成長していくことを期待しています。新入局員は、R2年卒の梅野 紘希、木原ひまわり、佐藤哲也、原口大希の計4名となっております。4名とも非常に情熱をもって真摯に仕事に取り組んでおり、今後の活躍を期待しております。

関連病院の先生方におかれましては、外科医不足でご迷惑をおかけしていますが、医局員一同入局者を増やす努力を続けていますので、今後ともよろしく願いいたします。

関連病院人事異動（令和4年（2022年）1月1日から12月31日）

移動日	卒年	氏名	異動元	異動先
4月1日	S54	福田 進太郎	宇部興産中央病院	セントヒル病院
〃	S57	長谷川 博康	小郡第一総合病院	徳山医師会病院
〃	S61	碓 彰一	山口大学先端がん治療開発学	周南記念病院
〃	H5	為佐 卓夫	徳山中央病院	宇部興産中央病院
〃	H8	竹本 紀一	小倉記念病院	小郡第一総合病院
〃	H11	蕨村 秀明	小倉記念病院	下関医療センター
〃	H17	松隈 聰	山口大学消化器・腫瘍外科学	徳山中央病院
〃	H18	来嶋 大樹	下関医療センター	都志見病院
〃	H22	木村 裕太	山口大学消化器・腫瘍外科学	セントヒル病院
〃	H22	藤原 康弘	山口大学消化器・腫瘍外科学	小野田赤十字病院
〃	H22	山本 常則	セントヒル病院	山口大学消化器・腫瘍外科学
〃	H27	兼定 弦	宇部興産中央病院	山口大学消化器・腫瘍外科学
〃	H28	西田 裕紀	都志見病院	山口大学消化器・腫瘍外科学
〃	H29	濱崎 太郎	関門医療センター	市立八幡浜総合 病院
〃	H30	佐伯 晋吾	都志見病院	関門医療センター
〃	H30	酒井 豊吾	徳山中央病院	都志見病院
〃	H30	鈴木 有十夢	徳山中央病院	山口大学消化器・腫瘍外科学
〃	H30	堤 甲輔	関門医療センター	下関医療センター
〃	H30	尤 曉琳	下関医療センター	徳山中央病院
〃	R1	金城 尚樹	山口大学消化器・腫瘍外科学	宇部興産中央病院
〃	R2	梅野 紘希	入局	山口大学消化器・腫瘍外科学
〃	R2	木原 ひまわり	入局	関門医療センター
〃	R2	佐藤 哲也	入局	徳山中央病院
〃	R2	原口 大希	入局	都志見病院
10月1日	H1	平木 桜夫	宇部興産中央病院	退職
〃	H11	吉田 晋	山口大学消化器・腫瘍外科学	関門医療センター
〃	H13	近藤 潤也	関門医療センター	宇部興産中央病院
〃	H29	堤 甲輔	下関医療センター	山口大学消化器・腫瘍外科学
〃	H30	鈴木 有十夢	山口大学消化器・腫瘍外科学	下関医療センター

臨床報告（各グループ）

入院

外来

各グループ

上部消化管

下部消化管

肝胆膵

乳腺・内分泌

腫瘍センター



赤間神宮（下関市）

臨床報告 (入院)



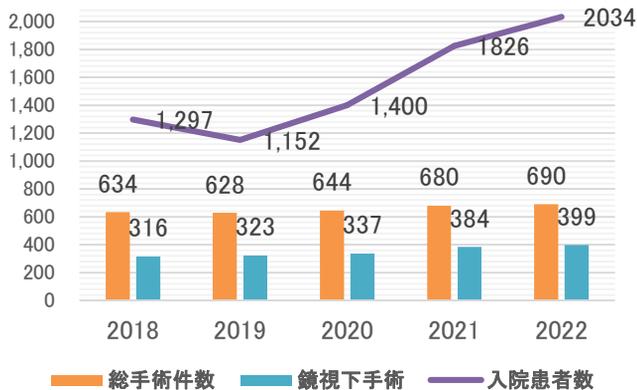
山口大学大学院医学系研究科
 消化器・腫瘍外科学 病棟医長

鈴木 伸明

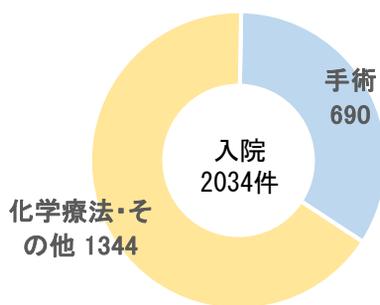
Nobuaki Suzuki

2022年の入院診療につきましてご紹介致します。当科では、上部消化管、下部消化管、肝胆膵、乳腺内分泌の4グループと腫瘍内科で診療体制をとっています。昨年に引き続きコロナ禍の中、初めてのコロナクラスターによる病棟閉鎖も経験し、年間手術件数は623件で、そのうち鏡視下手術は358件 (57.5%)でした。その逆風の中でも2022年は入院患者数のべ2034名、病床稼働率96.6%、平均在院日数8.4日でした。病棟稼働額は16.4億円まで増加しており、病院経営にもかなり貢献していると思われます。平均在院日数は10日を切っていて、やはり入院化学療法による短期入院が大きく貢献していると思われます。現在は昔の1病棟 (現在のB棟)の改修工事が行われており、最終形は2024年3月に完成予定です。現在すでに病棟はB棟5階のワンフロアすべて消化器・腫瘍外科となっており、55床に増床されました。合併症のあるハイリスク症例も多く、各班カンファレンスに加えて医療安全の観点からM&M (mortality & morbidity) カンファレンスも定期的に行い診療科全体での意識や情報を統一して、医療の質の向上を心掛けています。コロナ禍の影響で手術件数は横ばいでしたが、手術室数は16床あり、まだまだ手術を入れる余力があります。2022年は先行して行われていたロボット支援下食道切除術、ロボット支援下胃切除術に加えてロボット支援下肝切除術、ロボット支援下直腸切除術も開始しました。原稿を書きながら、やっとコロナが5類に引き下げられた現実に安堵感を覚えます。ひとまず、出口の見えないコロナ禍の終息が見えてきた。入院時必須であったPCR検査もなくなりました。世界的なパンデミックはこれくらいの時間をかけて終息していくのだと実感します。早く平穏な世界が戻ることを祈念しつつ、今後も高度で安全な医療を提供できるようスタッフ一同努力致しますので、益々のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

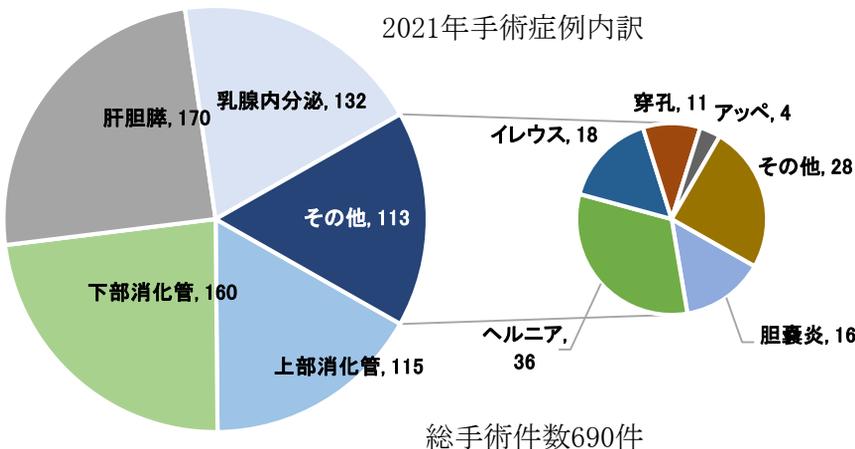
入院・手術患者数推移(2018-2022)



2022年入院患者内訳



2021年手術症例内訳



臨床報告 (外来)



山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学 外来医長

前田 訓子

Noriko Maeda

2022年10月より先任の吉田晋先生より外来医長を引き継ぎました平成12年卒の前田です。当科の外来診療の現状について報告します。御紹介頂いた患者さんの初診は、消化器疾患は永野浩昭教授、武田 茂医師、鈴木伸明医師(火曜、金曜)が、乳腺・甲状腺疾患は前田(火曜、金曜)が、薬物療法は井岡達也医師(月曜、木曜)が診察しています。治療方針は、院内のキャンサーボードおよび当科のグループカンファレンスを経て決定されます。初診外来のない曜日に御紹介頂いた場合でも、一旦は当番医が対応いたします。後日、上記と同様の診療の流れとなりますが、患者さんの再度の来院をお願いすることになります。緊急を要する患者さんのご紹介に関してはこの限りではございませんが、スムーズな外来診療のためにも事前予約をお願い申し上げます。

過去6年間の外来関連データを下記に示します。2020年からの新型コロナウイルスの蔓延に伴い、外来延べ患者数はいったん減少しましたが、外来診療収入額は化学療法患者の増加もあり、高い水準を保っています。また腫瘍内科外来開始より、多くの切除不能・再発症例をご紹介いただいたことで院外からの紹介患者数も増加傾向にあります。教室内で化学療法と手術治療の連携がとれることにより、局所進行症例に対して術前術後に化学療法を含めた集学的治療を行う症例も増えています。これも青山会会員の先生方のご紹介並びにご支援のおかげと感謝いたしております。今後もより質の高い診療を提供するとともに、山口県における高難度手術の集約化に努めて参ります。今後も皆さまからの益々のご指導ご鞭撻を賜ります様、お願い申し上げます。

外来延患者数 (人/年)



院外からの紹介患者数 (人/年)



外来稼働額 (万円/年)



外来診察初診担当医

専門名	火	金
肝臓・胆道・膵臓	永野 浩昭	永野 浩昭
肝移植	永野 浩昭	永野 浩昭
上部消化管	武田 茂	武田 茂
大腸・肛門	鈴木 伸明	鈴木 伸明
乳腺・甲状腺	前田 訓子	前田 訓子

月・水・木は外来担当当番医による初診対応を行っています

上部消化管グループ

スタッフ

武田 茂 飯田通久
渡邊裕策 西山光郎 中島千代



上部消化管グループは武田、飯田、渡邊、西山、中島のメンバーで食道・胃疾患の診療を行っております。2022年の新規患者は134例、手術は119例で大半が食道癌、胃癌の症例です。当科は日本食道学会食道外科専門医施設や日本胃癌学会認定施設Aの認定を受けており、専門医による最新の治療体制を整えております。内視鏡技術認定医も4名が在籍し、通常の内視鏡下手術に加えてロボット支援食道切除術やロボット支援胃切除術を積極的に導入して低侵襲で安全な手術を目指しております。最近増えている食道胃接合部癌でもそれぞれの専門性を生かして腹腔鏡下噴門側胃切除や胸腔鏡を併用した切除・再建などの機能温存と根治性を目指した手術も行っています。進行・再発症例に対しては、腫瘍センターと連携して最新のエビデンスに基づく抗がん剤や免疫チェックポイント阻害剤による治療を行い、術前化学療法、術後補助療法も含めて包括的ながん治療を提供できるように心掛けております。

令和4年診療研究情報報告

入院患者数

食道疾患	52例
食道癌	47例 (87%)
食道ヘルニア	4例 (10%)
その他	1例 (3%)

胃疾患	82例
胃癌	69例 (74%)
GIST	6例 (9%)
十二指腸腫瘍	1例 (6%)
イレウス・内ヘルニア	3例 (4%)
腹膜炎	2例 (4%)
その他	1例 (1%)

手術症例数

食道疾患名		42例	術式	42例
食道癌	26例	26例	ロボット支援食道切除術	12例
			胸腔鏡下食道切除術	13例
			縦隔鏡下食道切除術	1例
食道癌関連	13例	13例	気管切開術	1例
			頸部乳び漏	1例
			頸部出血	1例
			下咽頭癌	10例
良性疾患	5例	5例	腹腔鏡下噴門形成術	4例
			イレウス	1例
			遊離空腸再建	10例
			腹腔鏡下癒着剥離術	1例

胃疾患名	77例	術式	77例		
胃癌	63例 (82%)	腹腔鏡下幽門側胃切除術	23例		
		腹腔鏡下胃全摘術	7例		
		腹腔鏡下噴門側胃切除	5例		
		開腹胃全摘術	2例		
		ロボット幽門側胃切除術	15例		
		ロボット噴門側胃切除術	1例		
		ロボット胃全摘術	1例		
		腹腔鏡下バイパス術	1例		
		審査腹腔鏡	7例		
		大動脈LN郭清	1例		
		GIST	7例 (9%)	腹腔鏡下胃部分切除術	6例
				左上腹部内蔵全摘	1例
		十二指腸 GIST	3例 (4%)	LECS (十二指腸部切)	3例
正中弓状靱帯症候群	1例 (1%)	腹腔鏡下正中弓状靱帯切離	1例		
イレウス・内ヘルニア	3例 (4%)	腹腔鏡下イレウス解除	3例		
腹膜炎	2例 (3%)	腹腔鏡下大網充填	2例		

トピックス

- 1月 第4回山口食道がん研究会を開催しました
- 2月 山口県外科・救急真菌症カンファレンスで講演しました (武田)
第94回日本胃癌学会総会 (WEB開催) に参加しました (武田、飯田、中島)
- 3月 JCOG食道班会議にWEB参加しました (武田、渡邊、西山)
第19回山口県消化管セミナーを開催しました
- 4月 第122回日本外科学会定期学術集会 (熊本) に参加しました (武田、飯田、渡邊、西山、中島)
- 5月 内視鏡外科技術認定医 (胃) に認定されました (中島)
- 6月 第65回関西胸部部外科学会学術集会(浜松)に参加しました (武田、渡邊、西山)
- 7月 第77回日本消化器外科学会総会(横浜) に参加しました (武田、飯田、渡邊、西山、中島)
JCOG食道班会議にWEB参加しました (武田、渡邊、西山)
- 9月 第97回中国四国外科学会総会・第27回中国四国内視鏡外科研究会に参加しました
(武田、飯田、渡邊、西山)
第76回日本食道学会学術集会 (東京) に参加しました (武田、渡邊、西山)
- 10月 第60回日本癌治療学会学術集会 (神戸) に参加しました (武田)
JDDW2022に参加しました (武田、飯田、渡邊)
JCOG食道班会議に参加しました (武田、渡邊、西山)
- 11月 第35回日本外科感染症学会総会学術集会に参加しました (武田)
第6回山口消化管内視鏡外科研究会を開催しました
Esophageal Cancer Seminar in Yamaguchiを開催しました
日本内視鏡外科学会ロボット支援手術プロクターに認定されました (武田)
- 12月 第35回日本内視鏡外科学会総会 (名古屋) に参加しました (武田、飯田、渡邊、西山、中島)

ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
jRCT1030220248	臨床病期I-IVA (T4を除く) 胸部上中部食道扁平上皮癌に対する予防的鎖骨上リンパ節郭清省略に関するランダム化比較試験 (JCOG2013)	食道癌	JCOG	実施中
UMIN000043703	がん化学療法後に増悪した根治切除不能な進行・再発食道扁平上皮癌に対するNivolumab療法におけるバイオマーカー探索を含む前向き観察研究 ANTARES study	食道癌	慶應義塾大学	実施中
UMIN000034178	食道癌術前化学療法時の栄養介入が術前サルコペニアに及ぼす影響に関する後向きならびに探索的研究	食道癌	山口大学	登録終了
UMIN000015107	切除不能または再発食道癌に対するCF (シスプラチン+5-FU) 療法とbDCF (biweekly ドセタキセル+CF) 療法のランダム化第III 相比較試験 (JCOG1314)	食道癌	JCOG	登録終了
UMIN000017628	臨床病期I/II/III食道癌 (T4を除く) に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第III相試験 (JCOG1409)	食道癌	JCOG	登録終了
UMIN000031285	切除不能・進行再発胃癌を対象としたweekly nab-Paclitaxel + Ramucirumab併用療法の有用性を検討する第II相臨床試験	胃癌	山口大学	実施中
jRCTs031220572	術後補助化学療法中または終了後早期に再発した胃癌に対するCapeOX + ニボルマブ療法の第II相試験 (FirSTAR試験)	胃癌	JACCRO	実施中



下部消化管グループ

スタッフ

鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍



2022年、下部消化管グループは鈴木、吉田、友近のメンバーを中心に診療を行いました。手術患者数は190例でした。結腸・直腸癌症例に対する根治的手術は90例、再発を除く初回手術は85例で、そのうち鏡視下手術は83例(97.6%)とほとんどの症例に鏡視下手術を施行しました。良性疾患に関しても積極的に鏡視下手術を導入しています。2022年のトピックスは日本内視鏡外科学会の技術認定制度：消化器・一般外科領域(大腸)に関してですが、やっと苦節数年を経て鈴木が取得しました。これに伴い、ロボット支援下直腸切除術を高難度新規医療技術評価委員会に申請し、2022年9月にプロクター招聘のもと1例目を開始し、現在まで10数例症例を蓄積しています。手術室にダヴィンチXiの2台目が導入されたため、症例集積のスピードも上がると考えられ、今後ロボット支援下結腸切除術を早期に導入し、症例集積予定です。手術ではTaTMEの経験も蓄積され、今まで切除に難渋していたBulky tumorに対しても、術前化学療法による腫瘍の縮小、および経肛門の良好な視野により、two team制で時間短縮した手術が可能となっています。

令和4年診療研究情報報告

入院患者数(化学療法含む)

結腸/直腸癌(のべ人数)	600例
盲腸癌・回盲部癌	61例
上行結腸癌	96例
横行結腸癌	91例
下行結腸癌	16例
S状結腸癌	111例
直腸癌	225例

手術症例内訳

疾患別	手術症例：187例
大腸癌(人工肛門造設含む)	97例
大腸癌再発	5例
直腸NET	1例
クローン病・潰瘍性大腸炎	9例・1例
イレウス	13例
虫垂炎	4例(緊急：3例)
腹膜炎・腹腔内膿瘍	13例 (緊急：9例、準緊急：1例)
小腸疾患	3例
肛門疾患(痔核、痔瘻等)	2例
直腸脱	7例
人工肛門形成状態(人工肛門閉鎖)	15例
その他	14例

良性疾患	81例
イレウス	13例
直腸脱	7例
炎症性腸疾患	10例
急性虫垂炎	4例
肛門疾患	2例
腹膜炎・腹腔内膿瘍	13例
小腸疾患	3例
人工肛門形成状態(人工肛門閉鎖術)	15例
その他	14例

大腸癌根治手術	85例
年齢(平均、範囲)	70.7歳(42-89)
75歳以上(%)	34例(39.5%)

腫瘍局在(重複も含む)	
盲腸	5例
上行結腸	14例
横行結腸	7例
下行結腸	5例
S状結腸	18例
直腸・肛門	37例・0例

pStage	
0	2例
I	14例
II	41例
III	16例
IV	10例
ypCR	2例

大腸癌：術式別	90例
回盲部切除	10例
右半結腸切除	10例
横行結腸切除	4例
下行結腸切除	3例
S状結腸切除	21例
高位前方切除	11例（ロボット支援下：6例）
低位前方切除	20例（TaTME: 1例）
ISR	4例（TaTME: 4例）
直腸切断術	1例（TpTME: 1例）

大腸癌：術式別	(づつき)
骨盤内臓全摘	2例
Hartmann手術	1例
側方郭清	8例
その他	3例
到達法	85例
腹腔鏡補助	77例（開腹移行例なし）
（うちTa / TpTME	7例）
ロボット支援下	6例
開腹	2例(腹壁浸潤1例、巨大卵巣切除1例)

トピックス

- 1月 東京で開催された第96回大腸癌研究会（ハイブリッド開催）に参加しました。（友近、兼定）
- 4月 熊本で開催された第122回日本外科学会定期学術集会（ハイブリッド開催）に参加しました。（鈴木、吉田、兼定、小佐々）
- 5月 佐賀で開催された第76回手術手技研究会（ハイブリッド開催）に参加しました。（友近）
- 5月 京都で開催された第43回癌免疫外科研究会に参加しました。（山本、千々松、兼定、古谷）
- 7月 大阪で開催された“第44回日本癌局所療法研究会（ハイブリッド開催）”に参加しました。（小佐々）
- 7月 東京で開催された第97回大腸癌研究会学術集会（ハイブリッド開催）に参加しました。（吉田、友近）
- 7月 神奈川で開催された第77回日本消化器外科学会総会（ハイブリッド開催）に参加しました。（鈴木、吉田、友近、兼定、小佐々）
- 9月 岡山で開催された第97回中国四国外科学会総会、第27回中国四国内視鏡外科研究会に参加しました。（兼定）
- 10月 千葉で開催された第77回日本大腸肛門病学会学術集会に参加しました。（鈴木、友近、兼定）
- 10月 兵庫で開催された第60回日本癌治療学会学術集会（ハイブリッド開催）に参加しました。（吉田、兼定、小佐々）
- 10月 福岡で開催された、第30回日本消化器関連学会週間(JDDW 2022)（ハイブリッド開催）に参加しました。（鈴木、友近、兼定）
- 10月 吉田晋先生の異動に伴い、送別会を行いました。
- 11月 東京で開催された第84回日本臨床外科学会総会（ハイブリッド開催）に参加しました。（鈴木、兼定）
- 12月 愛知で開催された第35回日本内視鏡外科学会総会（ハイブリッド開催）に参加しました。（鈴木、友近）（ハイブリッド開催）



10月 吉田先生送別会



令和4年臨床試験一覧

終了した臨床試験

管理番号	試験名	対象	実施責任施設	進捗状況
H27-054	【TCR】大腸がん腫瘍浸潤リンパ球のT細胞受容体（TCR）網羅的解析による化学療法剤の効果予測と抗腫瘍特異的免疫誘導効果に関する研究	大腸癌	当院多施設	終了
H27-070	【PARADIGM study】RAS遺伝子（KRAS/NRAS遺伝子）野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対するmFOLFOX6+ペバシズマブ併用療法とmFOLFOX6+パニツムマブ併用療法の有効性及び安全性を比較する第Ⅲ相無作為化比較試験（PARADIGM study）	切除不能大腸癌	愛知県がんセンター中央病院 国立がん研究センター東病院	終了
H27-203	【CpG】進行・再発大腸がんに対する抑制性免疫解除剤+5種類のペプチドカクテル+CpGの複合免疫療法の第Ⅰ相臨床試験	進行・再発大腸癌	山口大学	終了
H24-057	【JFMC46-1201】再発危険因子を有するStageⅡ大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究	大腸癌	東海大学	終了

実施中の臨床試験

管理番号	試験名	対象	実施責任施設	進捗状況
H27-198	【JACCRO CC-13,DEEPER試験】RAS野生型進行大腸癌患者におけるFOLFOXIRI+セツキシマブとFOLFOXIRI+ペバシズマブの最大腫瘍縮小率(DpR)を検討する無作為化第Ⅱ相臨床試験（JACCRO CC-13試験）	大腸癌	香川大学	実施中
H28-004	【JACCRO CC-13試験 AR】RAS野生型進行大腸癌患者におけるFOLFOXIRI+セツキシマブとFOLFOXIRI+ペバシズマブの最大腫瘍縮小率(DpR)を検討する無作為化第Ⅱ相臨床試験におけるバイオマーカー研究（JACCRO CC-13AR）	大腸癌	聖マリアンナ医科大学	実施中
2018CRB001	【JACCROCC-16】RAS遺伝子野生型切除不能進行・再発大腸癌における二次治療FOLFIRI+ラムシルマブ併用療法の第Ⅱ相試験	切除不能大腸癌	香川大学医学部 附属病院	実施中
H2019-006	「RAS遺伝子野生型切除不能進行・再発大腸癌における二次治療FOLFIRI+ラムシルマブ併用療法の第Ⅱ相試験」におけるバイオマーカー研究（JACCROCC-16AR）	切除不能大腸癌	聖マリアンナ医科大学	実施中
H2019-090	【EXPERT付随】大腸癌肝転移に化学療法が与える影響に関する探索的観察研究	大腸癌肝転移	東京大学	実施中
H2019-155	【MOEST study】高齢者StageⅢ大腸癌に対する術後補助化学療法の現状調査	高齢者大腸癌	大腸癌研究会	実施中
H2019-177	「治療切除不能進行・再発大腸癌に対する一次治療としてのカペシタビン/LV5FU2+ペバシズマブ療法後のXELOX/FOLFOX +ペバシズマブ逐次療法とXELOX /FOLFOX +ペバシズマブ併用療法の多施設共同ランダム化第Ⅲ相臨床試験」参加者を対象とした追跡予後調査を目的とした観察研究（C ^o -Study）	切除不能大腸癌	川崎医科大学	実施中
2021-032	【RASMEX study】RAS 遺伝子変異型腫瘍を有する切除不能進行・再発大腸癌患者における化学療法後の血中RAS 遺伝子変異を評価する観察研究（JACCRO CC-17）	切除不能大腸癌	聖マリアンナ医科大学	実施中
2021-061	直腸癌手術における適切なCircumferential resection margin（CRM）とDistal Margin(DM)に関する多施設前向き観察研究	直腸癌	国立がん研究センター東病院	実施中
2021-142	【JACCRO CC-18】BRAF変異型大腸癌に対するBRAF阻害薬併用療法のバイオマーカー探索を含めた観察研究（BEETS試験）	大腸癌	聖マリアンナ医科大学	実施中
2022-171c	結腸癌に対する体腔内吻合の短期・長期成績に関する後向き・前向きコホート研究	大腸癌	大阪医科薬科大学	実施中

肝胆膵グループ

スタッフ

徳光幸生、新藤芳太郎、
松井洋人、中島正夫



消化器・腫瘍外科学講座の肝胆膵グループについてご紹介致します。私たちは山口県で唯一の、日本肝胆膵外科学会が定める“高度技能修練施設”の中の“認定施設A”（高難度手術を年間50例以上こなす施設）として、肝臓・胆道・膵臓領域の悪性疾患を中心に診療を行っています。肝細胞癌や転移性肝癌などに対しては低侵襲な腹腔鏡下肝切除を第一選択としており、現在では肝切除のうち8割以上の方に対し腹腔鏡手術を行っています。また、2022年4月から保険適応となったロボット支援下肝切除を8月から導入し、さらに高精度な低侵襲手術の提供に力を注いでいます。一方、胆道癌・膵臓癌などの難治癌・進行癌に対しては腫瘍内科の協力の下、化学療法後に根治術を行っており治療成績の向上を目指しています。遠方からも多くの患者さんをご紹介頂いており、他院で手術が難しいと判断されるようなケースでも、常に切除の可能性を追求し続けています。

令和4年診療研究情報報告

入院患者数（化学療法を含む）

肝疾患	162	胆道疾患	141	膵・脾疾患	476
肝細胞癌	31	胆嚢癌	43	膵癌	454
転移性肝腫瘍	18	胆管癌	55	PNET	3
肝内胆管癌	109	十二指腸乳頭部癌	4	IPMN	15
肝良性疾患	3	良性・その他	39	慢性膵炎	4
肝硬変（肝移植）	1				

手術症例数

() 腹腔鏡手術症例、* 重複あり

	肝切除					生体肝移植					膵全摘	膵中央切除	その他	計	
	葉切以上	区域	亜区域	外側区域	部分	ドナー	レシピエント	胆管切除再建	肝膵同時切除	膵頭十二指腸切除					膵体尾部切除
肝細胞癌	1	3(1)	2(1)	1(1)	18(16)					-	-				25(19)
肝内胆管癌	2	2(1)			1(1)			2*		-	-			4(4)	9(6)
転移性肝癌					18(17)					-	-				18(17)
その他の肝疾患		1(1)			1(1)					-	-			3(3)	5(5)
肝門部・上部胆管癌	4*							4*						1	5
中・下部胆管癌										3					3
胆嚢癌					3(3)			3						5(5)	11(8)
乳頭部癌										4				1(1)	5(1)
その他の胆道疾患					2(2)			1						9(9)	12(11)
膵頭部癌	-	-	-	-	-					18				18(18)	37(18)
膵体尾部癌	-	-	-	-	-					1	8(4)	1		15(15)	25(19)
その他の膵疾患	-	-	-	-	-					4	6(3)	1	2 (1)	5(1)	17(5)
上記以外										2				7(3)	9(3)
計	7*	6(3)	2(1)	1(1)	43(40)			8*		32	14(7)	2	2 (1)	68()	181(112)

トピックス

- 3月 第4回山口肝移植診療検討会（ハイブリッド）を開催しました（全員）
- 4月 系統的肝切除における胆嚢牽引法の論文がAnn Gastroenterol Surg誌に掲載されました（徳光）
松隈が徳山中央病院に出向しました（松隈）
- 5月 第11回山口膵・胆道疾患研究会（Web）を開催しました（全員）
藤田医科大学にロボット支援下肝切除の手術見学に行きました（徳光・中島）
中島先生が内視鏡外科学会技術認定医（肝臓）に認定されました（中島）
- 6月 第34回日本肝胆膵外科学会・学術集会に参加しました（全員）
新藤先生が肝胆膵高度技能専門医に認定されました（新藤）
- 8月 ロボット支援下肝切除を導入しました（全員）
- 11月 第5回山口肝移植診療検討会を開催しました（全員）
第12回山口膵・胆道疾患研究会（WEB）を開催しました（全員）
- 12月 膵島移植に関する論文がCell Transplantに掲載されました（新藤）



ロボット支援下肝切除手術風景



ロボット支援下肝切除 プロクターとしてお越し頂いた
北里大学メディカルセンター 海津貴史先生



新藤先生 高度技能医



中島先生 技術認定医

終了した臨床試験

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況	
肝	UMIN000040758	ドーム下小肝癌に対する腹腔鏡手術の有用性に関する多施設共同後ろ向き観察研究	肝細胞癌	山口大学・九州肝臓外科研究会	終了
	UMIN000029991	根治切除可能肝細胞癌(HCC)に対する周術期補助療法としてのHSP70由来ペプチド+GPC3由来ペプチド+IMP321+Hiltonolを用いた複合免疫療法の第I相臨床試験（YCP02試験）	肝細胞癌	山口大学	終了
膵		山口県内の膵癌根治切除症例に関する多施設共同後ろ向き観察研究	膵癌	山口大学	終了
	UMIN000027775	根治切除不能局所進行膵癌に対するGEM+nab-PTX療法の有用性に関する前向き多施設共同研究（GEAR study）	BR-A膵癌	九州大学	終了
	UMIN000034265	76歳以上の切除非適応膵癌患者に対する非手術療法の前向き観察研究	膵癌	国立がんセンター東病院	終了
		切除不能膵癌形成膵癌治療成績に関する他施設共同後ろ向き観察研究	膵癌	JCOG	終了

実施中の臨床試験

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況	
肝		【JCOG1315c】 切除可能肝細胞癌に対する陽子線治療と外科的切除の非ランダム化同時対照試験	肝細胞癌	JCOG	実施中
		門脈腫瘍栓を伴う高度進行肝細胞癌に対する集学的治療の安全性、有用性についての前向き観察研究	肝細胞癌Vp3-4	山口大学	実施中
		門脈内腫瘍栓を伴う高度進行肝細胞癌に対する治療方針とその安全性、有用性についての後ろ向き観察研究	肝細胞癌Vp3-4	山口大学	実施中
		C型肝炎SVR後発症の肝細胞癌に対する肝切除：IFN治療とDAA治療での臨床病理学的・分子生物学的比較検討に関する多施設共同研究	肝細胞癌	九州大学	実施中
		【CHALLENGE trial:JON2103-H】 Child-Pugh分類Bの進行肝細胞癌患者を対象としたアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の第II相試験	肝細胞癌	JON	実施中
		Machine learningを用いたCT画像解析による肝細胞癌の悪性度診断	肝細胞癌	熊本大学	実施中
UMIN000036286		大腸癌同時性肝転移に対する腹腔鏡下大腸・肝同時切除の安全性に関する前向き観察研究	大腸癌肝転移	山口大学	実施中
		肝細胞癌における肝中央二区域切除の術中出血および術後合併症リスク因子解析と短期予後に関する多施設共同研究	肝細胞癌	宮崎大学	実施中
		肝移植レシピエントにおける周術期腸内細菌叢の変化と感染性合併症の関係および術後敗血症を早期予測するためのバイオマーカー探索研究	肝移植	山口大学	実施中
		切除不能肝細胞癌におけるアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法、外科的切除を用いた集学的治療の安全性、有効性を検討する多施設共同第2相臨床研究 RACB	肝細胞癌	京都大学	実施中
		免疫チェックポイント阻害剤投与後かつAFP40ng/ml以上の進行肝細胞癌に対するレンパチニブとラムシルマブのランダム化比較第III相試験 JON2101-H	肝細胞癌	神奈川県立がんセンター	実施中
		免疫チェックポイント阻害剤投与後の進行肝細胞癌に対するソラフェニブとレンパチニブのランダム化比較第3相試験 JON2102-H	肝細胞癌	神奈川県立がんセンター	実施中

令和3年診療研究情報報告（令和3年12月31日現在）

実施中の臨床試験

	UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
胆	UMIN000035352	胆嚢癌疑診例に対する腹腔鏡手術の安全性に関する前向き観察研究	胆嚢癌	山口大学	登録終了
		肝内結石症第8期全国横断調査	肝内結石症	杏林大学	実施中
	UMIN000027785	胆嚢癌の診断と予後に関する前向き観察研究（GALLOP）	胆嚢癌	東北大学	登録終了
	UMIN000038239	局所進行胆道癌に対するConversion surgeryの治療成績と予後因子解析に関する後方視的観察研究	胆道癌	日本肝胆膵外科学会	登録終了
		JCOG-バイオバンク・ジャパン連携バイオバンク	胆道癌	JCOG	実施中
	UMIN000036449	肝葉切除を伴わない胆道癌切除例を対象としたゲムシタピン/シスプラチン（GC）併用療法とゲムシタピン/TS-1（GS）併用療法の術後補助化学療法のランダム化第2相試験（KHBO1901）	胆道癌	KHBO 大阪国際がんセンター	実施中
		胆道癌の術後補助療法における薬剤感受性予測因子に関する検討（JCOG1202A1）	胆道癌	JCOG	実施中
		【日韓共同プロジェクト研究】Vater 乳頭部癌に対する術後補助療法の治療成績に関する後方視的観察研究	乳頭部癌	肝胆膵外科学会	実施中
		胆管癌E7090試験	胆道癌	エーザイ	実施中
		FGFR2遺伝子再構成を伴う切除不能又は転移性の胆管癌患者を対象に、1次治療としてのPemigatinibの有効性及び安全性をゲムシタピン + シスプラチン併用化学療法と比較して評価する非盲検、ランダム化、実薬対照、多施設共同、第III相試験（FIGHT-302）	胆道癌	INCYTE社	実施中
	切除可能胆道癌に対する術前補助化学療法としてのゲムシタピン + シスプラチン + S-1（GCS）療法の第3相試験（JCOG1920）	胆道癌	JCOG	実施中	
UMIN000045156	70才以上の進行胆道癌患者に対する化学療法と高齢者機能評価に関する前向き観察研究 JON2104-B	胆道癌	JON	実施中	
膵		進行再発膵癌に対するゲムシタピン/ナブパクリタキセルとFOLFIRINOXもしくはS-1/LOX療法を比較するRCT	膵癌	JCOG	実施中
		ゲムシタピンベースの一次治療後の再発性または転移性膵癌に対するnal-IRIとS-1併用療法の第1/2相臨床試験 Phoenix study	膵癌	国立がん研究センター 東病院	承認済
		切除可能膵癌に対する腹腔鏡下膵体尾部切除術の開腹膵体尾部切除術に対する非劣性を検証するランダム化比較第III相試験【JCOG2202】	膵癌	JCOG	承認済
		慢性膵炎による難治性疼痛に対する内科的インターベンション治療と外科治療の比較解析 -多施設共同前向き実態調査-	慢性膵炎	藤田医科大学	実施中
		膵頭十二指腸切除における幽門輪の意義に関する後方視的観察研究	膵頭十二指腸切除症例	和歌山県立医科大学	実施中
		腹腔鏡下膵体尾部切除術における術前難度評価スコア（difficulty score）の有用性に対する検証研究	膵疾患	九州大学	登録終了
	UMIN000016380	膵・消化管および肺・気管支・胸腺神経内分泌腫瘍の患者悉皆登録研究（TRINET1332）	神経内分泌腫瘍	日本神経内分泌腫瘍研究会	実施中
	UMIN000037621	膵切除における抗血栓剤服用歴が術後経過に及ぼす影響に関する研究	膵切除症例	肝胆膵外科学会	実施中
		良性～低悪性度膵腫瘍に対する腹腔鏡下尾側膵切除術の際の脾温存術と脾合併切除術の比較検討；Propensity score matching解析を用いる	良性～低悪性度膵腫瘍	九州大学	実施中
		消化管・膵原発の切除不能進行・再発神経内分泌腫瘍に対するエベロリムス単剤療法とエベロリムス＋ランレオチド併用療法のランダム化第III相試験（JCOG1901）	切除不能・再発NET	JCOG	実施中

令和3年診療研究情報報告（令和3年12月31日現在）

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況	
膵	UMIN000014795	消化管・肝胆膵原発の切除不能・再発神経内分泌癌（NEC）を対象としたエトボシド/シスプラチン療法のランダム化比較試験	NEC	JCOG	実施中
		2次化学療法実施中の切除不能膵癌患者におけるePROを用いたQOL調査研究	膵癌	杏林大学	承認済
		十二指腸狭窄を有する切除不能進行膵癌を対象とした初回化学療法導入前の狭窄解除法に関する多施設共同後ろ向き観察研究	膵癌	千葉がんセンター	実施中
	UMIN000029147	切除可能境界膵癌に対するGemcitabine/nab-Paclitaxel併用療法もしくはmFOLFIRINOXによる術前化学療法に関する多施設共同前向き観察研究	膵癌	山口大学	登録終了
		アジア人中腸NETの臨床病理学的特性に関する多施設共同研究	中腸NET	東北大学	登録終了
		Invasive intraductal papillary mucinous carcinoma (IPMC)に対する術後補助療法の有用性に関する後ろ向き観察研究	IPMC	和歌山県立医科大学	実施中
		腹膜転移を有する膵がんに対するS-1+パクリタキセル経静脈・腹腔内投与併用療法の無作為化比較第III相多施設共同臨床試験 SP study	膵癌	関西医科大学	実施中
	膵頭十二指腸切除術後の膵液瘻の術前リスク因子に関する多施設共同後ろ向き観察研究	膵切除症例	山口大学	実施中	
	膵癌に対する樹状細胞ワクチンTLP0-001治験	膵癌	和歌山医科大学	登録終了	
UMIN000043376	膵癌に対する審査腹腔鏡検査の臨床的意義に関する前向き観察研究	膵癌	山口大学	実施中	

臓器横断的、その他

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
肝胆膵癌	MSI-High肝胆膵領域癌に対する観察研究	肝胆膵領域癌	国立がん研究センター中央病院	実施中
膵癌・胆道癌	膵・胆道癌に対する集学的治療（術前化学療法および手術加療）適格症例および治療法選定のためのバイオマーカー探索試験	膵癌・胆道癌	山口大学	実施中
肝胆膵領域癌	肝胆膵領域癌および神経内分泌腫瘍の希少フラクションに対する治療開発を目的としたマスタープロトコール試験【Mascarpone:JON2108-O】	肝胆膵領域癌および神経内分泌腫瘍	JON	実施中
十二指腸	十二指腸癌外科的切除症例の臨床病理学的因子と予後に関する研究	十二指腸癌	奈良県立医科大学	登録終了

申請中の臨床試験

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
肝	Borderline resectable肝細胞癌に対するレンパチニブ+シスプラチン肝動注化学療法の多施設共同第II相試験【LEOPARD-NEO】	肝細胞癌	国立がん研究センター東病院	準備中
胆	胆道癌に対する術後補助療法としてのカベシタピン療法の第II相試験【KHBO2101】	胆道癌	KHBO	準備中
膵	高齢者膵癌に対する術前GS vs GnP療法の第III相試験【JCOG2202】	膵癌	JCOG	準備中
	生殖細胞系列BRCA遺伝子病的バリエーションを有する切除不能・再発膵癌患者におけるFOLFOX療法の有効性と安全性を検討する第2相試験【JON-2105-P】	膵癌	JON	IRB申請中
	転移性膵癌に対する2次治療におけるナノリボソームイリリノテカン/5-FU/ロイコボリン併用療法とS-1単剤療法の比較：傾向スコアマッチングを用いた多施設共同後ろ向きコホート研究【JON-2109-P】	膵癌	JON	IRB申請中

乳腺内分泌グループ



スタッフ
前田訓子、鍋屋まり

乳腺・甲状腺・副甲状腺の悪性・良性疾患の外科手術および薬物療法などを、診断を含めて幅広く行っています。特に乳癌センチネルリンパ節生検においては、3D CT-リンフォグラフィ、Real-time Virtual Sonography (RVS)、ICGによるセンチネルリンパ節直接マーキング法といった当科オリジナルの方法で、センチネルリンパ節を高精度に同定しています。また、当院では形成外科専門医、乳腺専門医が備わっており、自家組織およびインプラントを考慮した乳房再建手術を保険診療で行うことが可能です。遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）の診断・治療に関しては、遺伝・がんゲノム診療外来、産婦人科との連携のもと行っています。2020年の保険収載以降、当科で加療中の遺伝性乳がん卵巣がん症候群の患者様4名にリスク低減卵巣摘出術が行われました。また対側乳房の予防切除術を2例に施行しました。今後も山口県唯一の遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹施設として産婦人科や遺伝専門外来と協力し、遺伝性乳がんの診療を進めていきます。引き続き山口県の乳がん診療を充実するため、今後も診療・教育・研究に力を注ぎたいと思います。

令和4年診療研究情報報告

入院患者数

乳腺疾患	162
乳癌	113
良性疾患	14
マンモトーム検査	16
その他	19

甲状腺・副甲状腺疾患	6
甲状腺癌	3
Basedow病	2
良性腫瘍・その他	0
副甲状腺疾患	1

手術症例数

乳腺疾患	126
乳癌に対する手術	113
乳房切除術	103
(うち乳房再建術)	5)
乳房温存術	10
良性・その他	13

甲状腺・副甲状腺疾患	6
甲状腺癌に対する手術	3
甲状腺葉切除+頸部郭清	(2)
甲状腺全摘+頸部郭清	(1)
甲状腺良性腫瘍	0
Basedow病手術	2
副甲状腺手術	1

トピックス

- 3月 JCOG乳がんグループ参加が承認されました。
- 4月 日本外科学会定期学術集会で、鍋屋、前田が発表しました
- 7月 日本乳癌学会で、鍋屋、前田が発表しました
- 9月 日本乳癌学会中国四国地方会、前田が発表、鍋屋がディベートセッションに参加しました。

令和4年研究報告（令和4年12月31日現在）

UMIN ID	試験名	対象	実施責任組織	進捗状況
000000843	JBCRG-04	病理学的R1乳癌	JBCRG	登録終了
000001090	NSAS BC-06	閉経後乳癌	NSAS	登録終了
000002349	RESPECT	HER2陽性乳癌	NSAS	登録終了
000018202	HER2陽性の進行・再発乳癌に対するペルツズマブ再投与の有用性を検証する第III相臨床研究－ペルツズマブ再投与試験－JBCRG-M05(PRECIOUS)	HER2陽性乳癌	JBCRG	登録終了
000033384	BRCA1/2遺伝子変異陽性者に対するリスク低減乳房切除術の安全性の検討	遺伝性乳癌卵巣癌症候群	山口大学	実施中
	乳癌手術後の整容性に対する患者満足度の調査研究	乳癌術後	山口大学	実施中
000027938	HER2陽性進行・再発乳癌におけるトラスツズマブ、ペルツズマブ、タキサン併用療法とトラスツズマブ、ペルツズマブ、エリブリン併用療法を比較検討する第III相臨床研究-JBCRG-M06(EMERALD)	HER2陽性乳癌	JBCRG	登録終了
000039200	乳房専用PET検査の有用性について多施設探索研究	乳癌	山口大学	実施中
	錫(Sn)フィルターを用いた超低線量胸部CT(乳腺領域)の画質評価	乳癌	山口大学	実施中
000038065	転移・再発乳癌における遺伝子パネル検査 FoundationOne® CDxの 治療方針決定に与える影響を検討する観察研究 JBCRG-C07 (REIWA study)	Stage IVまたは登録時に遠隔転移を有する進行・再発乳癌患者	JBCRG	実施中
	乳がん罹患した女性の妊孕性温存の選択における意思決定支援	乳癌	山口大学	実施中
000030783	高齢者HER2陽性進行乳癌に対するT-DM1療法とペルツズマブ+トラスツズマブ+ドセタキセル療法のランダム化比較第III相試験 JCOG1607	HER2陽性進行乳癌	JCOG	試験中止
000028298	エストロゲン受容体陽性・低リスク非浸潤性乳管癌に対する非切除+内分泌療法の有用性に関する単群検証的試験 (JCOG1505, LORETTA trial)	低リスク非浸潤性乳管癌	JCOG	実施中
jRCTs031190129	薬物療法により臨床的完全奏効が得られた HER2 陽性原発乳癌に対する非切除療法の有用性に関する単群検証的試験 JCOG1806	c T1-2N0M0 HER2陽性原発性乳癌	JCOG	登録終了
000042447	切除不能進行がんおよび転移・再発固形がん患者に対するElectronic Patient-Reported Outcome (ePRO) モニタリングの有用性を検証する多施設共同非盲検ランダム化比較試験 PRO-MOTE (乳がん)	切除不能進行がんおよび転移・再発乳がん	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター	実施中
	「エンハーツ点滴静注用100mg特定使用成績調査(乳癌)」患者を登録対象としたトラスツズマブ デルクステカン中止後の後治療に関するコホート研究	進行再発乳癌	昭和大学	実施中
	未成年の子どもを持つがんの母親が各時期で経験する子どもに向けた思いと各時期で求められるケアの調査	乳癌	山口大学	実施中

腫瘍センター

スタッフ
井岡達也、山田健介



がん薬物療法は進歩を続け、適応となる抗がん薬や疾患は飛躍的に増えています。令和2年に腫瘍センターに赴任し、当院においてがん薬物療法を行う患者さんの数は着実に増えております。疾患や治療はもちろん、年齢から個性、社会的背景もさまざまな患者さんがおられます。私たち腫瘍センターは病気だけにスポットをあてず、患者さんや家族にとって何がベストかを考え、その人らしく治療を続けていけるようなケアを大切にしています。今後、外来化学療法室のベッド数は増える予定で、さらに外来で治療を行える患者さんの数は増えることが予想されます。最新の治療を提供しつつ、AIなどを活用し、業務を円滑に進める一方で、目の前の患者さんと向き合う時間を大事にしていきたいと思っております。がん患者さんのための情報発信や関連医療機関との連携を深めていきたいと常に考えていますので、今後ともご助力の程よろしくお願いたします。

令和4年診療研究情報報告

診療実績

疾患領域		疾患領域	
食道	23例	肝臓	1例
胃	29例	胆道（肝内胆管癌含む）	51例
大腸	95例	膵臓	80例
小腸・十二指腸	1例	NET・NEC	6例
		肉腫	1例
		原発不明	3例

診療実績

食道癌	切除不能	13例	胆道癌 (肝内胆管癌を含む)	術前補助	5例	
	術後補助	Nivo単剤		10例	臨床試験	JCOG1920試験
胃癌	術前補助	2例		術後補助	15例	
	術後補助	12例		臨床試験	KHBO1901試験	3例
	切除不能	15例		切除不能	22例	
大腸癌	術前補助	23例	膵癌	R術前補助	13例	
		肝転移・肺転移		15例	BR術前補助	7例
		局所進行	8例		切除不能	52例
	術後補助	20例		企業治験	アステラス	3例
	切除不能	52例		臨床試験	JCOG1611試験	5例



美祢さくら公園（美祢市）

第3回 山口食道がん研究会

2022.1.19

基調講演

座長：高見 太郎 先生

山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学講座 教授

当科におけるロボット支援下食道癌手術の導入と初期経験

演者：武田 茂 先生

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 診療准教授

特別講演

座長：永野 浩昭 先生

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 教授

食道がん診療 一最近の話題一

演者：竹内 裕也 先生

浜松医科大学医学部第二外科講座 教授

第4回山口食道がん研究会

日時 2022年1月19日(水) 19:00~20:30

実施形式 ハイブリッド形式講演会

会場 山口大学医学部霧仁会館3階 配信方法 Zoom Webinar
参加費 1000円(ご来場の医師の先生方) Web参加 無料

【開会のご挨拶】19:00~

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学講座
教授 永野 浩昭先生

【情報提供】19:05~19:15

『オロナジン消毒液1.5%について』

株式会社大塚製薬工場

【一般演題】19:15~19:30

座長 山口大学大学院医学系研究科消化器内科学講座教授 高見太郎先生

『ダヴィンチに関する内容(仮)』

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学講座
診療准教授・副科長 武田 茂先生

【特別講演】19:30~20:30

座長 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学講座
教授 永野 浩昭先生

『食道癌診療 -最新的话题-』

浜松医科大学医学部外科学第二講座
(消化器・血管外科学分野)教授
竹内 裕也先生

【閉会のご挨拶】 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学講座
教授 永野 浩昭先生

【申し込み用2次元コード】



【登録用URL】

https://zoom.us/webinar/register/WN_gmxmpIN7T1m13TPJxrw1vQ

共催 山口食道がん研究会 株式会社大塚製薬工場

第5回 山口県外科専門医育成会議

2022.2.26

総合司会：来嶋大樹先生

開会挨拶：武田 茂先生

「修練医企画」問題症例検討道場

司会：北原正博先生、堤 甲輔先生、尤 曉琳先生

プレゼンター：濱崎太郎先生

ビデオクリニック~トラブルシューティング、まずい一手~

司会：来嶋大樹先生、近藤潤也先生

特別講演

座長：西村 拓先生

修練医の先生に向けた

慶應義塾大学病院の施設・設備・研修プログラムについて

演者：松田 諭先生

慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科 助教

第5回山口県外科専門医育成会議

2022年2月26日(土) 15:00~18:00

下関グランドホテル 望潮

〒750-0006 山口県下関市南部町31-2
TEL (0832-31-5000)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状況を鑑み、
個人差を考慮し、参加をお断りしております。
オンラインでの参加方法につきましては要項をご覧ください。

総合司会 下関医療センター 外科・消化器外科 部長 来嶋大樹先生

製品紹介 15:00~15:10 「サイラムザ」情報提供 日本イーライリリー株式会社

開会挨拶・ビデオメッセージ 山口大学消化器・腫瘍外科学診療准教授 武田茂先生

「修練医企画」問題症例検討道場 15:15~16:00

司会 関門医療センター 外科・消化器外科 北原正博先生

関門医療センター 外科・消化器外科 堤甲輔先生

下関医療センター 外科・消化器外科 尤曉琳先生

プレゼンター 関門医療センター 外科・消化器外科 濱崎太郎先生

ビデオクリニック ~トラブルシューティング、まずい一手~ 16:00~17:00

司会 下関医療センター 外科・消化器外科 部長 来嶋大樹先生

関門医療センター 外科・消化器外科 近藤潤也先生

特別講演 17:00~18:00

座長 下関医療センター 外科・消化器外科 部長 西村拓先生

『修練医の先生に向けた慶應義塾大学病院の施設・設備・研修プログラムについて』

演者 慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科 助教 松田諭先生

総括 山口大学消化器・腫瘍外科学診療准教授 武田茂先生

共催 山口県外科専門医育成会議・日本イーライリリー株式会社

第4回 山口肝移植診療検討会

2022.3.10

特別講演

座長：永野 浩昭 先生

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 教授

肝移植医療に取り組んだ20年と、福島での奮闘

演者：丸橋 繁 先生

福島県立医科大学 肝胆膵・移植外科学講座 教授

第4回 山口肝移植診療検討会

謹啓

時下 先生におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます
さて この度 下記の通り第4回山口肝移植診療検討会を開催させて頂くことになりました
つきましては ご多忙のうちに恐縮に存じますが ご参加・ご視聴いただけましたら幸いです
末筆ながら先生の益々のご発展をお祈り申し上げます

謹白

日時 2022年3月10日(木) 19:00~20:05

会場 山口大学医学部 医修館 1階講義室
住所：山口県宇部市南小串1丁目1番1号 TEL:0836-22-2111(代表)
個人視聴 Teamsによる配信(視聴方法は、表面をご確認ください)

開会挨拶 19:00~19:05

永野 浩昭 先生 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学分野 教授

特別講演 19:05~20:05

「肝移植医療に取り組んだ20年と、 福島での奮闘」

座長)永野 浩昭 先生 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学分野 教授

演者)丸橋 繁 先生 福島県立医科大学 肝胆膵・移植外科学講座 教授

共催：山口肝移植診療検討会・アステラス製薬株式会社

第9回 山口乳癌研究会

2022.4.27

Session1

司会：永野 浩昭 先生

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 教授

乳腺外科専門医制度新設にあたって

～アンケート結果を踏まえて～

演者：前田 訓子 先生

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 助教

パネリスト

山本 滋 先生 JCHO徳山中央病院 乳腺外科 主任部長

長島 由紀子 先生 関門医療センター 外科

藤井 雅和 先生 山口県総合医療センター 外科

Session2

司会：濱野 公一 先生

山口大学大学院医学系研究科 器官病態外科学講座 教授

HER2陽性乳癌に対する周術期治療のパラダイムシフト

演者：池田 雅彦 先生

福山市民病院 診療部次長／乳腺甲状腺外科 統括部長

第9回 山口乳癌研究会

日時 2022年4月27日(水) 19:00~20:30

場所 オンライン開催
(発信会場：山口グランドホテル 2階「鳳凰」)

PROGRAM

Session1

司会 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学講座 教授 永野 浩昭 先生

講演&ディスカッション
『乳腺外科専門医制度新設にあたって(仮)』

演者 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学講座 助教 前田 訓子 先生

パネリスト JCHO徳山中央病院 乳腺外科 主任部長 山本 滋 先生
関門医療センター 外科 医長 長島 由紀子 先生
山口県立総合医療センター 外科 部長 藤井 雅和 先生

Session2

司会 山口大学大学院医学系研究科 器官病態外科学講座 教授 濱野 公一 先生

『HER2陽性乳癌に対する周術期治療のパラダイムシフト』

演者 福山市民病院 診療部次長/乳腺甲状腺外科 統括科長 池田 雅彦 先生

共催 山口乳癌研究会・中外製薬株式会社

第11回 山口膵・胆道疾患研究会

2022.5.17

総合座長：永野 浩昭 先生
山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学 教授

一般演題

山口県の膵癌化学療法について

演者：松井 洋人 先生

山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学 助教

特別講演

膵癌の治療戦略 一三本の矢に学ぶ一

演者：岡野 圭一 先生

香川大学医学部 消化器・総合外科学 教授

第11回 山口膵・胆道疾患研究会

日時 2022年5月17日(火) 19:00~20:00

Zoom
Live配信
本研究会は事前登録制でございます
右の二次元コードまたは下記URLより事前登録をお願いいたします
https://yakult-iyk.zoom.us/webinar/register/WN_xHpe91is54aXz10uMhzqQ



総合
座長
永野 浩昭 先生
山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 教授

● 一般講演 (19:00~19:15)

山口県の膵癌化学療法について (仮)

演者
松井 洋人 先生
山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 助教

● 特別講演 (19:15~20:00)

膵癌の治療戦略 一三本の矢に学ぶ一

演者
岡野 圭一 先生
香川大学医学部 消化器外科学 教授

ご入力いただきました個人情報は、当講演会の出版者の確認及び連絡の目的にのみ使用し、第三者に提供することはありません。また、保管には適切な安全管理措置を講じ、使用目的達成後は速やかに廃棄します。
ご不明な点がございましたら、下記担当MRへご連絡ください
株式会社ヤクルト本社 藤井祐輝 yuki-fuji@yakult.co.jp

共催：山口膵・胆道疾患研究会 株式会社ヤクルト本社

第5回 山口肝移植診療検討会

2022.11.16

特別講演

座長：永野 浩昭 先生

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 教授

九州大学における肝移植外科手術

演者：吉住 朋晴 先生

九州大学大学院医学系研究科 消化器・総合外科 教授

第5回 山口肝移植診療検討会

謹啓
時下 先生におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます
さて この度 下記の通り第5回山口肝移植診療検討会を開催させて頂くことになりました
つきましては ご多忙のり誠に恐縮に存じますが ご参加・ご視聴いただけましたら幸いです
末筆ながら先生の益々のご発展をお祈り申し上げます

謹白

日時 2022年11月16日(水) 19:00~20:05

会場 山口大学医学部 霜仁会館 3Fホール
住所：山口県宇部市南小串1丁目1番1号 TEL:0836-22-2111(代表)
個人視聴 Teamsによる配信(参加登録は、裏面をご確認ください)

開会挨拶 19:00~19:05
永野 浩昭 先生 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学分野 教授

特別講演 19:05~20:05

「九州大学における肝移植外科手術」

座長)永野 浩昭 先生 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学分野 教授
演者)吉住 朋晴 先生 九州大学大学院医学系研究科 消化器・総合外科 教授

共催：山口肝移植診療検討会・アステラス製薬株式会社

特別講演

座長：永野 浩昭 先生

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 教授

胆道癌集学的治療の現状

演者：江畑 智希 先生

名古屋大学大学院 医学系研究科 腫瘍外科学 教授

第12回 山口脍・胆道疾患研究会

日時：2022年 11月 22 日 (火) 19:00～20:00

インターネットLIVE配信

本会はZoomのシステムを利用した講演会となりますので、
PC上での視聴となります。申し込み方法は裏面をご覧ください。



特別講演：19:00～20:00

座長 山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学 教授 永野 浩昭 先生

『胆道癌集学的治療の現状』

演者
名古屋大学大学院 医学系研究科
腫瘍外科学 教授 江畑 智希 先生

主催  大鵜薬品工業株式会社
OSANO PHARMACEUTICAL CO., LTD.

2022年 業績報告



秋桜（山陽小野田市）

英文論文

1. Ikeda N, Yamamoto H, Taketomi A, Hibi T, Ono M, Niikura N, Sugitani I, Isozumi U, Miyata H, Nagano H, Unno M, Kitagawa Y, Mori M. The impact of COVID-19 on surgical procedures in Japan : analysis of data from the National Clinical Database. *Surg Today*; . 2022 Jan ; 52(1): 22-35.
2. Nagano H. The impact of genomic medicine on gastrointestinal cancer surgery. *Ann Gastroenterol Surg*. 2022 Jan ; 6(1): 6.
3. Azemoto N, Ueno M, Yanagimoto H, Mizuno N, Kawamoto Y, Maruki Y, Watanabe K, Suzuki R, Kaneko J, Hisada Y, Sato H, Kobayashi S, Miyata H, Furukawa M, Mizukami T, Miwa H, Ohno Y, Tsuji K, Tsujimoto A, Nagano H, Okuyama H, Asagi A, Okano N, Ishii H, Morizane C, Ikeda M, Furuse J. Endoscopic duodenal stent placement versus gastrojejunostomy for unresectable pancreatic cancer patients with duodenal stenosis before introduction of initial chemotherapy (GASPACHO study) : a multicenter retrospective study. *Jpn J Clin Oncol*. 2022 Feb ; 52(2): 134-142.
4. Kubo S, Shinkawa H, Asaoka Y, Ioka T, Igaki H, Izumi N, Itoi T, Unno M, Ohtsuka M, Okusaka T, Kadoya M, Kudo M, Kumada T, Kokudo N, Sakamoto M, Sakamoto Y, Sakurai H, Takayama T, Nakashima O, Nagata Y, Hatano E, Harada K, Murakami T, Yamamoto M. Liver Cancer Study Group of Japan Clinical Practice Guidelines for Intrahepatic Cholangiocarcinoma. *Liver Cancer*. 2022 Feb ; 11(4): 290-314.
5. Tsunedomi R, Yoshimura K, Kimura Y, Nishiyama M, Fujiwara N, Matsukuma S, Kanekiyo S, Matsui H, Shindo Y, Watanabe Y, Tokumitsu Y, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Hazama S, Nagano H. Elevated expression of RAB3B plays important roles in chemoresistance and metastatic potential of hepatoma cells. *BMC Cancer*. 2022 Mar ; 22(1) : 260.
6. Tokumitsu Y, Tamesa T, Shindo Y, Sakamoto K, Nagano H. Application and utility of surgical techniques for cystic plate isolation in liver surgery. *Ann Gastroenterol Surg*. 2022 Mar ; 6(5) : 726-732.
7. Yamada K, Matsukuma S, Tokumitsu Y, Shindo Y, Ikeda Y, Nagano H. Surgical shunt ligation for a congenital extrahepatic portosystemic shunt with pulmonary hypertension : A case report. *Int J Surg Case Rep*. 2022 Apr ; 93: 107024.
8. Tanabe M, Matsui H, Higashi M, Tokumitsu Y, Nagano H, Ito K. Pancreatic liposarcoma : a case report. *Abdom Radiol (NY)*. 2022 Jun ; 47(6): 1912-1916.
9. Iida M, Takeda S, Nakashima C, Nishiyama M, Watanabe Y, Suzuki N, Yoshino S, Nakagami Y, Tanabe T, Nagano H. Risk factors for non-gastric-cancer-related death after gastrectomy in elderly patients. *Ann Gastroenterol Surg*. 2022 Jun ; 6(6): 753-766.
10. Ashida R, Ioka T, Takada R, Fukutake N, Ikezawa K, Ohkawa K, Nagata S, Takahashi H. New Screening System Using Forward-Viewing Radial Endoscopic Ultrasound and Magnetic Resonance Imaging for High-Risk Individuals With Familial History of Pancreatic Cancer. *Front Med (Lausanne)*. 2022 Jun ; 9: 928182.
11. Elbadawy M, Fujisaka K, Yamamoto H, Tsunedomi R, Nagano H, Ayame H, Ishihara Y, Mori T, Azakami D, Uchide T, Fukushima R, Abugomaa A, Kaneda M, Yamawaki H, Shinohara Y, Omatsu T, Mizutani T, Usui T, Sasaki K. Establishment of an experimental model of normal dog bladder organoid using a three-dimensional culture method. *Biomed Pharmacother*. 2022 Jul ; 151: 113105.
12. Okada M, Ihara K, Miyoshi K, Nakao S, Tanabe M, Tokumitsu Y, Harada E, Sakamoto K, Nagano H, Ito K. Portal vein embolization via the ipsilateral percutaneous transhepatic approach versus laparotomic transileocecal approach : complications, profile and changes in future liver remnant volume. *Br J Radiol*. 2022 Jul ; 95(1135): 20210854.
13. Doki Y, Ueno M, Hsu CH, Oh DY, Park K, Yamamoto N, Ioka T, Hara H, Hayama M, Nii M, Komuro K, Sugimoto M, Tahara M. Tolerability and efficacy of durvalumab, either as monotherapy or in combination with tremelimumab, in patients from Asia with advanced biliary tract, esophageal, or head-and-neck cancer. *Cancer Med*. 2022 Jul ; 11(13): 2550-2560.
14. Kubo S, Nagano H, Tsujie M, Seo S, Gotoh K, Wada H, Nakashima S, Ioka T. Microsatellite instability in patients with hepato-biliary-pancreatic malignancies in clinical practice (KHBO 1903). *Int J Clin Oncol*. 2022 Aug ; 27(8): 1340-1347.

15. Hamabe K, Nishikawa J, Goto A, Ogawa R, Hashimoto S, Hoshii Y, Iida M, Nagano H, Takami T. Flower in the duodenum (with video). *Gastrointest Endosc.* 2022 Aug ; 96(2): 383-384.
16. Matsuda A, Maruyama H, Akagi S, Inoue T, Uemura K, Kobayashi M, Shiomi H, Watanabe M, Arai H, Kojima Y, Mizuuchi Y, Yokomizo H, Toiyama Y, Miyake T, Yokoyama Y, Ishimaru K, Takeda S, Yaguchi Y, Kitagawa Y. Do postoperative infectious complications really affect long-term survival in colorectal cancer surgery? A multicenter retrospective cohort study. *Ann Gastroenterol Surg.* 2022 Aug ; 7(1): 110-120.
17. Mlecnik B, Torigoe T, Bindea G, Popivanova B, Xu M, Fujita T, Hazama S, Suzuki N, Nagano H, Okuno K, Hirohashi Y, Furuhashi T, Takemasa I, Patel P, Vora H, Shah B, Patel JB, Rajvik KN, Pandya SJ, Shukla SN, Wang Y, Zhang G, Yoshino T, Taniguchi H, Bifulco C, Lugli A, Lee JJ, Zlobec I, Rau TT, Berger MD, Nagtegaal ID, Vink-Börger E, Hartmann A, Geppert CI, Kolwelter J, Merkel S, Grützmann R, Van den Eynde M, Jouret-Mourin A, Kartheuser A, Léonard D, Remue C, Wang J, Bavi P, Roehrl MHA, Ohashi PS, Nguyen LT, Han S, MacGregor HL, Hafezi-Bakhtiari S, Wouters BG, Masucci GV, Andersson E, Zavadova E, Vocka M, Spacek J, Petruzela L, Konopasek B, Dunder P, Skalova H, Nemejcova K, Botti G, Tatangelo F, Delrio P, Ciliberto G, Maio M, Laghi L, Grizzi F, Marliot F, Fredriksen T, Buttard B, Lafontaine L, Maby P, Majdi A, Hijazi A, El Sissy C, Kirilovsky A, Berger A, Lagorce C, Paustian C, Ballesteros-Merino C, Dijkstra J, Van de Water C, van Lent-van Vliet S, Knijn N, Muşină AM, Scripcariu DV, Marincola FM, Ascierto PA, Fox BA, Pagès F, Kawakami Y, Galon J. Clinical Performance of the Consensus Immunoscore in Colon Cancer in the Asian Population from the Multicenter International SITC Study. *Cancers (Basel).* 2022 Sep ; 14(18): 4346.
18. Nakagami Y, Hazama S, Suzuki N, Yoshida S, Tomochika S, Matsui H, Shindo Y, Tokumitsu Y, Matsukuma S, Watanabe Y, Iida M, Tsunedomi R, Takeda S, Fujita T, Kawakami Y, Ogihara H, Hamamoto Y, Ioka T, Tanabe T, Ueno T, Nagano H CD4 and FOXP3 as predictive markers for the recurrence of T3/T4a stage II colorectal cancer : applying a novel discrete Bayes decision rule. *BMC cancer.* 2022 Oct ; 22(1): 1071.
19. Kobayashi S, Suzuki M, Ueno M, Maruki Y, Okano N, Todaka A, Ozaka M, Tsuji K, Shioji K, Doi K, Kojima Y, Tsumura H, Tanaka K, Higuchi H, Kawabe K, Imaoka H, Yamashita T, Miwa H, Nagano H, Arima S, Hayashi H, Naganuma A, Yamaguchi H, Hisano T, Umemoto K, Ishii S, Nakashima K, Suzuki R, Kitano Y, Misumi T, Furuse J, Ishii H. Comparing the Efficacy and Safety of Gemcitabine plus Nab-Paclitaxel versus Gemcitabine Alone in Older Adults with Unresectable Pancreatic Cancer. *Oncologist.* 2022 Oct ; 27(10): e774-e782.
20. Kimura Y, Tsunedomi R, Yoshimura K, Matsukuma S, Shindo Y, Matsui H, Tokumitsu Y, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Hazama S, Nagano H. Immune Evasion of Hepatoma Cancer Stem-Like Cells from Natural Killer Cells. *Ann Surg Oncol.* 2022 Nov ; 29(12): 7423-7433.
21. Yamaoka Y, Sasai M, Suehiro Y, Hashimoto S, Goto A, Yamamoto N, Suzuki N, Higaki S, Fujii I, Suzuki C, Matsumoto T, Hoshida T, Koga M, Tsutsumi T, Lim LA, Matsubara Y, Tomochika S, Yoshida S, Hazama S, Yotsuyanagi H, Nagano H, Sakaida I, Takami T, Yamasaki T. Comparison of two primer-probe sets of *Fusobacterium nucleatum* using droplet digital polymerase chain reaction for the detection of colorectal neoplasia from faecal samples. *Ann Clin Biochem.* 2022 Nov ; 59(6): 396-403.
22. Ono S, Adachi T, Ohtsuka T, Kimura R, Nishihara K, Watanabe Y, Nagano H, Tokumitsu Y, Nanashima A, Imamura N, Baba H, Chikamoto A, Inomata M, Hirashita T, Furukawa M, Idichi T, Shinchi H, Maruyama Y, Nakamura M, Eguchi S. Predictive factors for early recurrence after pancreaticoduodenectomy in patients with resectable pancreatic head cancer : A multicenter retrospective study. *Surgery.* 2022 Dec ; 172(6): 1782-1790.
23. Seo S, Hatano E, Kanai M, Ogawa K, Takada Y, Kobayashi S, Eguchi H, Nagano H, Ioka T. Prospective Observational Study of Sorafenib in Hepatocellular Carcinoma Patients With Very High Risk of Recurrence After Surgery. *Anticancer Res.* 2022 Dec ; 42(12): 6127-6134.
24. Okamura H, Yamano H, Tsuda T, Morihiro J, Hirayama K, Nagano H. Development of a clinical microarray system for genetic analysis screening. *Pract Lab Med.* 2022 Dec ; 33: e00306.
25. Takahara N, Nakai Y, Isayama H, Sasaki T, Morine Y, Watanabe K, Ueno M, Ioka T, Kanai M, Kondo S, Okano N, Koike K. A prospective multicenter phase II study of FOLFIRINOX as a first-line treatment for patients with advanced and recurrent biliary tract cancer. *Invest New Drugs.* 2022 Dec: 1-10.

27. Okada K, Uemura K, Ohge H, Iseki M, Mizuma M, Shinkawa H, Takahata R, Aoki T, Makino K, Arai H, Miyake T, Takeda S, Yokoyama Y, Yaguchi Y, Kobayashi M, Matsuda A, Shiomi H, Watanabe M, Akagi S, Inoue T, Tanemoto K, Maruyama H. Prognostic impact of postoperative infection in patients with pancreatic cancer : A multicenter cohort study. *Surgery*. 2022 Dec ; 172(6): 1768-1775.
28. Shindo Y, Kalivarathan J, Saravanan PB, Levy MF, Kanak MA. Assessment of Culture/Preservation Conditions of Human Islets for Transplantation. *Cell Transplant*. 2022 Jan-Dec ; 31: 1-12.
29. Suehiro Y, Suenaga S, Kunimune Y, Yada S, Hamamoto K, Tsuyama T, Amano S, Matsui H, Higaki S, Fujii I, Suzuki C, Hoshida T, Matsumoto T, Fujimoto Y, Kaino S, Shinjo K, Kondo Y, Sakaida I, Takami T, Nagano H, Yamasaki T. CA19-9 in Combination with Methylated HOXA1 and SST Is Useful to Diagnose Stage I Pancreatic Cancer. *Oncology*. 2022 ; 100(12): 674-684.

和文論文

1. 裕 彰一、玉田耕治、加藤直也、坂元亨宇、永野浩昭 消化器癌に対する新規複合免疫療法 2022年1月 89-91
2. 井岡達也、波多野悦朗、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、山田健介、永野浩昭 切除不能胆道がんにおける細胞障害性抗がん薬の役割 腫瘍内科 第29巻 第3号 (通巻171号) 2022年3月 306-310
3. 尤 曉琳、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、永野浩昭 腹腔鏡下核出術にて診断し得た膵内副脾に発生した epidermoid cyst の1例 手術 第76巻 第3号 (3月号) 2022年3月 353-357
4. 裕 彰一 ネオアンチゲンをを用いたがんワクチン療法 がん免疫ペディア腫瘍免疫学・がん免疫療法の全てをまるごと理解! 2022年3月 41-42
5. 恒富亮一 サイトカイン がん免疫ペディア腫瘍免疫学・がん免疫療法の全てをまるごと理解! 2022年3月 114-115
6. 松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、中島正夫、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 Conversion therapy の意義 肝胆膵 第84巻 第5号 2022年5月 565-569
7. 井岡達也、永野浩昭 切除不能または再発胆道癌に対する薬物治療 第57回日本胆道学会学術集会記念誌 胆道癌の診断と治療の動向2021-2022 2022年6月 58-60
8. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 肝内胆管癌に対する薬物治療 臨床雑誌 外科 第84巻 第9号 (8月号) 2022年8月 998-1002
9. 中島正夫、恒富亮一、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 腫瘍免疫原性と免疫チェックポイント阻害剤 癌と化学療法 第49巻 第9号 2022年9月 922-927
10. 新藤芳太郎、永野浩昭 慢性膵炎外科的治療 消化器疾患最新の治療2023-2024 2022年12月 391-394
11. 井岡達也、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、山田健介、永野浩昭 遠隔転移を有する (metastatic) 膵癌に対する化学療法 肝胆膵 第85巻 第6号 2022年12月 829-835
12. 前田訓子、鍋屋まり、鈴木伸明、武田 茂、為佐路子、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 山口県における高齢者乳癌治療に関するアンケート調査 癌と化学療法 第49巻 第13号 2022年12月 1402-1404
13. 金城尚樹、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡、中島正夫、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 巨大嚢胞状腫瘍を呈した胃 GIST 肝転移の1切除例 癌と化学療法 第49巻 第13号 2022年12月 1494-1496
14. 小佐々貴博、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、星井嘉信、永野浩昭 CRM 確保が困難な局所進行直腸癌に対してFOLFOXIRI 療法が術前化学療法として有用であった 1例 癌と化学療法 第49巻 第13号 2022年12月 1609-1612
15. 中島千代、飯田通久、武田 茂、原田栄二郎、宮崎健介、近藤潤也、河岡 徹、岡 一斉、渡邊めぐみ、高橋 剛、井岡達也、濱野公一、永野浩昭 山口県における腹膜播種陽性胃癌の治療戦略に関するアンケート調査 癌と化学療法 第49巻 第13号 2022年12月 1616-1618
16. 山本 滋、前田訓子、佐藤陽子、鍋屋まり、長島由紀子、久保秀文、永野浩昭 乳房温存手術において使用する乳腺円状部分切除器具の開発 Oncoplastic Breast Surgery 7巻 2号 2022年 32-36

国際学会発表・司会

The 17th Congress of Asian Society for Clinical Pathology and Laboratory Medicine (ASCPaLM)

2022/10/7-10/9

1. Ioka T. Advanced Technical Seminar II Pancreatic Cancer. Poster.

The 17th Congress of Asian Society for Clinical Pathology and Laboratory Medicine (ASCPaLM)

2022/10/7-10/9

1. Ioka T. Advanced Technical Seminar II Pancreatic Cancer Diagnosis for pancreatic cancer～What can be done for early diagnosis～. Advanced Technical Seminar

Asian-Pacific Congress of Robotic Laparoscopic Surgery 2022 (ACRLS 2022) 2022/12/8-12/10

1. Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, Matsukuma S, Nakajima M, Watanabe Y, Tomochika S, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Hazama S, Ueno T, Ioka T, Nagano H. The standardization of the Glissonian pedicle approach for the laparoscopic anatomical liver resection. Oral Session

国内学会・研究会 発表・司会

第25回日本肝がん分子標的治療研究会 1/8 福岡 ホテル日航福岡

1. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 多発肝内転移を伴う進行肝細胞癌に対して、分子標的薬と減量切除術を含む集学的治療を施行した1例ポスター

第96回大腸癌研究会 1/20-1/21 (ハイブリッド開催) 東京 浜松町コンベンションホール

1. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、桑原太一、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、藤田知信、河上 裕、永野浩昭 StageII 大腸癌における再発予測マーカーとしての免疫関連因子の検討 口演
2. 真崎純一、勝又健次、小林匡治、橋本幹弘、齋藤 彰、裕 彰一、鈴木伸明、永野浩昭、黒田雅彦、土田明彦 機械学習を用いた、Stage2 結腸がんの新規予後予測モデルの開発 口演
3. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 R0 切除困難な局所進行直腸癌に対して FOLFOXIRI 療法がconversion surgery に有用であった一症例 示説

第19回日本臨床腫瘍学会学術集会 2/17-2/19 (ハイブリッド開催) 京都 国立京都国際会館 ザ・プリンス 京都宝ヶ池

1. 井岡達也 Cross-sectional Program 2 (Imaging and procedure in oncology) 臓器横断プログラム Mini-Oral Session 司会
2. 池田公史、井岡達也、上野 誠、奥坂拓志、Teng Zhaoyang、古屋桃子、古瀬純司 Nal-IRI+5-FU/LV vs 5-FU/LV in metastatic pancreatic cancer-Additional safety report of randomized Japanese phase 2 trial Mini-Oral Session
3. 佐川 保、辻 晃仁、佐竹悠良、中村将人、砂川 優、是久翔太郎、松浦正徒、湯浅康弘、峯 孝志、永野浩昭、重安邦俊、金城達也、小高雅人、奥山浩之、久保田祐太郎、東風 貢、舛石俊樹、竹内正弘、市川 度、藤井雅志 抗EGFR抗体薬併用化学療法に不応/不耐となった進行再発大腸癌患者に対する2次治療：FOLFIRI/ラムシルマブ併用療法の第II相試験：JACCRO CC-16 Oral Session
4. 高原楠昊、中井陽介、藤澤聡郎、佐々木隆、森根裕二、渡邊一雄、上野誠、井岡達也、金井雅史、近藤俊輔、岡野尚弘、伊佐山浩通、小池和彦 A prospective multicenter phase II study of FOLFIRINOX in patients with advanced and recurrent biliary tract cancer Oral Session

第94回日本胃癌学会総会 3/2-3/4 (ハイブリッド開催) 神奈川 パシフィコ横浜

1. 武田 茂 ポスター26 トランスレーショナルリサーチ ポスター 司会
2. 飯田通久 ポスター62 高齢者胃癌1 ポスター 司会
3. 飯田通久、武田 茂、中島千代、西山光郎、渡邊裕策、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 80歳以上高齢者胃癌手術後の短期および長期成績に影響を及ぼす術前因子の解析 口演

第122回日本外科学会定期学術集会 4/14-4/16 (ハイブリッド開催) 熊本 熊本城ホール

1. 武田 茂 サージカルフォーラム (40) 胃-合併症 サージカルフォーラム 司会
2. 永野浩昭 パネルディスカッション14 腫瘍免疫学とがん免疫療法の最近の進歩 パネルディスカッション 司会
3. 裕 彰一 サージカルフォーラム (140) 大腸-基礎-1 サージカルフォーラム 司会
4. 裕 彰一 会頭企画 知っておきたい外科学の最新トピックス【免疫療法】講師
5. 藤原康弘、恒富亮一、吉村 清、松隈 聡、藤原信行、西山光郎、兼清信介、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 膵癌幹細胞様細胞の細胞表面における免疫関連分子の検討 サージカルフォーラム
6. 松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、裕 彰一、井岡達也、永野浩昭 膵頭十二指腸切除術後膵液瘻における栄養学的指標の意義 サージカルフォーラム

7. 飯田通久、武田 茂、中島千代、渡邊裕策、西山光郎、松隈 聰、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 当科における十二指腸腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術 (LECS) サージカルフォーラム
8. 山田健介、井岡達也、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聰、中島正夫、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、上野富雄、永野浩昭 高齢膵癌患者に対する術前 mFOLFIRINOX 療法の安全性の検討 サージカルフォーラム
9. 前田訓子、鍋屋まり、鈴木伸明、武田 茂、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 術前化学療法症例のセンチネルリンパ節評価における3D CT-lymphography(CTLG)の有用性 サージカルフォーラム
10. 松村 優、河口義邦、阿部浩幸、牛久哲男、鍵村達夫、尾崎寛之、福澤謙吾、大塚由一郎、藤田秀人、高橋進一郎、永野浩昭、吉田和弘、馬場秀夫、山本雄造、高橋 祐、長谷川潔 術前化学療法による大腸癌肝転移の微小転移制御に関する組織学的検討 サージカルフォーラム
11. 中島正夫、裕 彰一、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聰、中上裕有樹、恒富亮一、玉田耕治、宇高恵子、坂元亨宇、加藤直也、斉藤 彰、土肥 俊、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 肝細胞癌に対する新規がんワクチン療法による腫瘍微小環境の改変と複合免疫療法の提案 パネルディスカッション
12. 新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聰、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 膵癌術後の早期再発予測因子の検討 サージカルフォーラム
13. 西山光郎、武田 茂、渡邊裕策、飯田通久、中島千代、松隈 聰、松井洋人、前田訓子、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 食道癌術前 FP 療法における有害事象の検討 デジタルポスター
14. 吉田 晋、鈴木伸明、友近 忍、松隈 聰、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 下部進行直腸癌における術前短径 5mm 未満の側方リンパ節に郭清の意義はあるのか デジタルポスター
15. 渡邊孝啓、武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、中島千代、西山光郎、新藤芳太郎、徳光幸生、松隈 聰、松井洋人、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、裕 彰一、上野富雄、井岡達也、永野浩昭 高齢者胃癌手術後の短期および長期成績に影響を及ぼす術前因子の解析 デジタルポスター
16. 小佐々貴博、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聰、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、上野富雄、永野浩昭 当科における 90 歳以上超高齢者大腸癌手術症例の治療成績 デジタルポスター
17. 渡邊裕策、武田 茂、西山光郎、飯田通久、中島千代、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聰、松井洋人、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 食道癌術後胃管再建における再建経路別による検討 デジタルポスター
18. 武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、中島千代、松隈 聰、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 80 歳以上の高齢者胸部食道癌に対する手術成績 デジタルポスター
19. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聰、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 胆嚢板牽引法と肝門部微細肝破砕を用いた腹腔鏡下肝 S8 垂区域切除術 デジタルポスター
20. 木村祐太、徳光幸生、松隈 聰、松井洋人、新藤芳太郎、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 腹腔鏡下肝切除における肝十二指腸間膜確保の定型化の試み デジタルポスター
21. 古谷 圭、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聰、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 膵体尾部癌に対する至適リンパ節郭清の検討 デジタルポスター
22. 金城尚樹、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聰、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 教室における膵神経内分泌腫瘍切除症例の治療成績と治療方針の検討 デジタルポスター
23. 徳久晃弘、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聰、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 当科における原発性十二指腸癌の治療成績 デジタルポスター
24. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聰、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 当科における大腸癌肝転移肝切除症例における予後リスク因子の検討 デジタルポスター
25. 鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聰、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 当科における大腸手術縫合不全ゼロを目指した取り組み デジタルポスター
26. 鍋屋まり、前田訓子、鈴木伸明、武田 茂、久保秀文、長島由紀子、山本 滋、永野浩昭 当科における 75 歳以上高齢者乳癌手術症例の検討 デジタルポスター

第108回日本消化器病学会総会 4/21-4/23 (ハイブリッド開催)

1. 井岡達也 胆道腫瘍 一般演題(口演)座長

第58回日本肝癌研究会 5/12-5/13 (ハイブリッド開催) 東京 虎ノ門ヒルズフォーラム

1. 永野浩昭 症例検討会3 症例検討会 司会
2. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 BCLC staging と肝癌診療ガイドラインより考える肝細胞癌のresectability と教室の治療戦略 パネルディスカッション
3. 松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 右葉系系統的肝切除における胆嚢牽引法を用いたグリソン一括確保 ビデオワークショップ
4. 中島正夫、恒富亮一、徳光幸生、松井洋人、新藤芳太郎、松隈 聡、中上裕有樹、玉田耕治、宇高恵子、坂元亨宇、齋藤 彰、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 新規がんペプチドワクチンによる肝細胞癌の免疫原性の向上と複合免疫療法の提案 一般演題
5. 日高匡章、江口 晋、市田晃彦、有田淳一、波多野悦朗、齋浦明夫、永野浩昭、進藤潤一、橋本雅司、竹村信行、田浦康二郎、阪本良弘、高橋 祐、脊山泰治、佐々木泰治、上村剛平、國土典宏、長谷川 潔 切除不能肝細胞癌に対するレンパチニブ投与によるコンバージョン手術 一多施設前向き研究 LENS-HCC trial— シンポジウム
6. 佐伯一成、山崎隆弘、末廣 寛、田守昭博、岩佐元雄、山内由里佳、田邊規和、大野高嗣、川本大樹、西村達朗、松本俊彦、石川 剛、永野浩昭、高見太郎 肝細胞癌に対する分子標的治療薬におけるメチル化 SEPT9 のコンパニオン診断 パネルディスカッション

第76回手術手技研究会 5/20-5/21 (ハイブリッド開催) 佐賀 ホテルグランデはがくれ

1. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 横行結腸癌に対する頭側アプローチ先行 #223郭清の有用性 サージカルフォーラム
2. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 腹腔鏡下系統的肝切除術における、経総胆管的胆管減圧チューブを用いた術後胆汁漏予防 サージカルフォーラム

第43回癌免疫外科研究会 5/26-5/27 京都 御所始御門前京都ガーデンパレス (旧水戸藩邸)

1. 裕 彰一 主題関連 主題関連2 消化管2 座長
2. 古谷 圭、中島正夫、恒富亮一、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松隈 聡、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 大腸癌の予後バイオマーカーとなりうる血清 Proteinase-3 の検討 口演
3. 兼定 航、鈴木伸明、桑原太一、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、藤田知信、河上 裕、永野浩昭 Stage II 大腸癌における免疫関連因子を用いた再発予測マーカーの検討 口演
4. 中島正夫、恒富亮一、徳光幸生、松井洋人、新藤芳太郎、松隈 聡、中上裕有樹、玉田耕治、宇高恵子、坂元亨宇、齋藤 彰、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 新規がんペプチドワクチンによる腫瘍免疫原性の向上と複合免疫療法の提案 主題
5. 千々松日香里、裕 彰一、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、兼定 航、恒富亮一、中上裕有樹、中島千代、松隈 聡、新藤芳太郎、松井洋人、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 Stage IV 大腸癌の新規予後予測バイオマーカーとしての MCP-3 の検討 主題関連
6. 山本常則、恒富亮一、中島正夫、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、河上 裕、裕 彰一、永野浩昭 大腸癌患者における腫瘍内サイトカイン発現と血中サイトカイン濃度の関係 主題関連

第58回日本肝臓学会総会 6/2-6/3 (ハイブリッド開催) 神奈川 パシフィコ横浜会議センター

1. 中島正夫、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、永野浩昭 肝細胞癌に対する新規がんペプチドワクチン療法による腫瘍微小環境の改変と複合免疫療法の提案 一般演題 (口演)
2. 木村祐太、中島正夫、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、永野浩昭 肝がん細胞株から誘導した Cancer stem-like cell におけるNK 細胞からの逃避能亢進 一般演題 (口演)
3. 松隈 聡、井岡達也、永野浩昭 教室の成績から見た大腸癌同時性肝転移の切除可能性分類 ワークショップ

2022年度日本肝臓学会前期教育講演会 6/4 (WEB開催)

1. 永野浩昭 肝移植の最新の知見 教育講演会

第34回日本肝胆膵外科学会・学術集会 6/10-6/11 愛媛 愛媛県県民文化会館

1. Nagano H Special Session2 Advices from board-certified HBP surgeons Moderators
2. Nagano H Video Symposium6 Resection and reconstruction of major blood vessel in surgery for hepatobiliary pancreatic cancer : indications based on the difficulty of surgery and long-term prognosis. Moderators
3. 永野浩昭 モーニングセミナー1 外科医が考える胆道癌治療の最前線 司会
4. Matsukuma S, Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, Nakajima M, Watanabe Y, Tomochika S, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Nagano H The efficacy and safety of neoadjuvant chemotherapy for advanced gallbladder cancer Panel Discussion
5. Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsui H, Matsukuma S, Nakajima M, Watanabe Y, Tomochika S, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Nagano H Use of biliary drainage tube via common bile duct in laparoscopic anatomical liver resection Requested Video
6. Nakajima M, Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsukuma S, Matsui H, Watanabe Y, Tomochika S, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Nagano H Therapeutic strategy for repeat laparoscopic liver resection based on Difficulty score and Pringle maneuver Poster
7. Matsui H, Tokumitsu Y, Shindo Y, Matsukuma S, Nakajima M, Watanabe Y, Tomochika S, Yoshida S, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Nagano H The efficacy of neoadjuvant chemotherapy in vulnerable patients with resectable pancreatic cancer remains inadequate Poster
8. Shindo Y, Tokumitsu Y, Matsui H, Matsukuma S, Nakajima M, Furuya K, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Nagano H Safety and feasibility of pancreaticoduodenectomy in octogenarians Poster
9. Ichida A, Arita J, Hatano E, Eguchi S, Saiura A, Nagano H, Shindoh J, Hashimoto M, Takemura N, Taura K, Sakamoto Y, Takahashi Y, Seyama Y, Sasaki Y, Uemura K, Kokudo N, Hasegawa K Multicenter prospective study to evaluate the efficacy of lenvatinib to achieve conversion surgery for initially unresectable hepatocellular carcinoma : LENS-HCC trial Panel Discussion
10. 永野浩昭 ランチョンセミナー 11 胆道癌治療における多職種連携 ランチョンセミナー

第31回日本癌病態治療研究会 6/23-6/24 (ハイブリッド開催) 徳島 アオアヲナルトリゾート

1. 永野浩昭 消化器癌に対する Conversion Surgery シンポジウム 司会
2. 中島正夫、恒富亮一、徳光幸生、松井洋人、新藤芳太郎、松隈 聡、玉田耕治、宇高恵子、坂元亨宇、齋藤 彰、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 新規がんペプチドワクチンによる肝細胞癌の免疫原性の向上と複合免疫療法の提案 シンポジウム
3. 山本常則、恒富亮一、中島正夫、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 大腸癌術前血中サイトカイン濃度と腫瘍内サイトカイン発現の関係 ポスター

第30回日本乳癌学会学術総会 6/30-7/2 (ハイブリッド開催) 神奈川 パシフィコ横浜ノース

1. 前田訓子、鍋屋まり、鈴木伸明、武田 茂、為佐路子、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 術前化学療法症例における 3D CT-lymphography(CTLG) を用いたセンチネルリンパ節の治療効果予測 e-Poster
2. 鍋屋まり、前田訓子、鈴木伸明、武田 茂、為佐路子、久保秀文、長島由紀子、山本 滋、永野浩昭 当科における75歳以上高齢者乳癌手術症例の検討 e-Poster
3. 山本 滋、為佐路子、鈴木有十夢、得能和久、長島由紀子、久保秀文、前田訓子、永野浩昭 センチネルリンパ節にマクロ転移を認めた乳房全切除施行症例の腋窩リンパ節郭清省略に関する検討 e-Poster
4. 堤 甲輔、長島由紀子、前田訓子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 上大静脈症候群を契機に診断された再発乳癌の1例 e-Poster

第44回日本癌局所療法研究会 7/1 (ハイブリッド開催) 大阪 千里ライフサイエンスセンター

1. 永野浩昭 主題2 転移巣に対する局所療法 座長
2. 中島千代、飯田通久、原田栄二郎、宮崎健介、近藤潤也、河岡 徹、岡 一斉、渡邊めぐみ、高橋 剛、井岡達也、濱野公一、永野浩昭 山口県における腹膜播種陽性胃癌の治療戦略に関するアンケート調査 一般演題
3. 小佐々貴博、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 FOLFOXIRI 療法が conversion surgery に有用であった局所進行直腸癌の1例 一般演題
4. 前田訓子、鍋屋まり、長島由紀子、久保秀文、山本 滋、永野浩昭 山口県における高齢者乳癌治療に関するアンケート調査 一般演題

5. 金城尚樹、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 巨大嚢胞状腫瘤を呈した胃 GIST 肝転移の1切除例 一般演題
6. 佐伯晋吾、前田祥成、西田裕紀、徳久晃弘、北村義則、安藤静一郎、山本達人 大腸癌様癌の一例 一般演題

第31回日本がん転移学会学術集会・総会 7/7-7/8 (ハイブリッド開催) 京都 京都大学百周年時計台記念館

1. 永野浩昭 ワークショップ3 免疫 座長
2. 恒富亮一、吉村 清、木村祐太、西山光郎、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 肝癌幹細胞における自然免疫系からの逃避 ワークショップ

第26回国際膵臓学会・第53回日本膵臓学会大会 7/7-7/9 (ハイブリッド開催) 京都 国立京都国際会館

1. Ioka T Symposium3 Phase III trials for pancreatic cancer in progress Moderators
2. Nagano H Oral11 Treatment for Pancreatic Cancer① Moderators
3. Shindo Y, Tokumitsu Y, Matsui H, Matsukuma S, Nakajima M, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Nagano H Vascular resection and reconstruction for advanced pancreatic cancer Video Symposium

第40回日本肝移植学会学術集会 7/7-7/8 (ハイブリッド開催) 東京 京王プラザホテル

1. Nagano H Symposium International Symposium4 Transplant Oncology Chair
2. 永野浩昭 特別企画1 周術期生体ドナー合併症 特別企画 座長

第97回大腸癌研究会学術集会 7/7-7/8 (ハイブリッド開催) 東京 浜松町コンベンションホール

1. 永坂岳司、大場光芳、中村憲章、入谷光洋、矢野修也、碓 彰一、永野浩昭 Lynch 症候群除外診断用 MLH1methylation DNA Chip の開発と臨床応用に向けて 口演
2. 吉田 晋、鈴木伸明、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、上野富雄、永野浩昭 当科における側方郭清の治療成績 示説
3. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 MSI-H 大腸癌における臨床病理学的検討と術後補助化学療法の影響 示説

第77回日本消化器外科学会総会 7/20-7/22 (ハイブリッド開催) 神奈川 パシフィコ横浜

1. Nagano H Workshop18 Surgical technique and perioperative management to prevent sarcopenia frailty ワークショップ18 【総論】サルコペニア・フレイルを防ぐ手術手技・周術期管理 司会
2. 鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、碓 彰一、永野浩昭 郭清を意識した右側結腸切除術における頭側アプローチの有用性 主題関連演題
3. 松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、松隈 聡、中島正夫、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 modified Frailty Index に基づいた切除可能膵癌に対する術前化学療法の必要性 要望演題
4. 武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、徳光幸生、新藤芳太郎、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 食道癌患者における周術期リハビリテーションと術後成績の検討 一般演題
5. 西山光郎、武田 茂、渡邊裕策、飯田通久、中島千代、吉田 晋、友近 忍、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 切除不能・再発食道癌に対するbiweekly docetaxel/nedaplatin 療法の有用性について 一般演題
6. 太田啓介、武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、新藤芳太郎、徳光幸生、吉田 晋、鈴木伸明、永野浩昭 食道切除における抗血栓薬と術後短期成績の関連について 一般演題
7. 古谷 圭、新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 80歳代の高齢者に対する膵頭十二指腸切除術の適応と安全性の検討 一般演題
8. 山田健介、井岡達也、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 高齢大腸癌肝転移に対する術前補助療法は安全か? 一般演題
9. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、武田 茂、碓 彰一、永野浩昭 肝転移個数による大腸癌肝転移におけるオリゴ転移症例の探索 一般演題
10. 木村祐太、徳光幸生、中島正夫、松隈 聡、松井洋人、新藤芳太郎、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 Pringle 法が施行できない症例における腹腔鏡下肝切除術の安全性 一般演題
11. 松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 教室の成績から見た大腸癌同時性肝転移の切除可能性分類 一般演題

12. 藤原康弘、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、新藤芳太郎、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 当科における局所進行直腸がんに対する術前化学療法の治療成績 一般演題
13. 渡邊孝啓、武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、中島千代、西山光郎、徳光幸生、吉田 晋、鈴木伸明、永野浩昭 高齢者胃癌における手術後合併症および予後予測因子としての CONUT score の有用性 一般演題
14. 中島千代、武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、徳光幸生、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 腹腔鏡下幽門側胃切除術後における十二指腸断端リークのリスク因子の検討 一般演題
15. 飯田通久、武田 茂、中島千代、渡邊裕策、西山光郎、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 当科における脾摘を伴う腹腔鏡下胃全摘の手法と成績 一般演題
16. 徳久晃弘、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 左側尾状葉に対する腹腔鏡下肝切除の視野展開の工夫と治療成績 一般演題
17. 恒富亮一、木村祐太、徳光幸生、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、吉村 清、永野浩昭 肝癌幹細胞における NK 細胞からの免疫逃避 一般演題
18. 吉田 晋、鈴木伸明、友近 忍、徳光幸生、新藤芳太郎、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 高齢者大腸癌手術症例において術前骨格筋量は他病死の予測因子になるか 一般演題
19. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 腹腔鏡下結腸切除術における体腔内吻合法の導入と短期治療成績 一般演題
20. 小佐々貴博、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、武田茂、裕 彰一、永野浩昭 当科における閉塞性大腸癌手術症例の治療成績 一般演題
21. 金城尚樹、松井洋人、永野浩昭 巨大嚢胞状腫瘤を呈した胃 GIST 肝転移の1切除例 専攻医
22. Shindo Y, Tokumitsu Y, Matsui H, Matsukuma S, Nakajima M, Iida M, Suzuki N, Takeda S, Ioka T, Nagano H
Pancreatectomy with vascular resection for locally advanced pancreatic cancer 局所進行膵癌における主要血管合併切除の手法と成績 Video Symposium

第26回日本がん免疫学会総会 7/20-7/22 (ハイブリッド開催) 島根 島根県民会館

1. 中島正夫、恒富亮一、徳光幸生、松井洋人、新藤芳太郎、松隈 聡、中上裕有樹、玉田耕治、宇高恵子、坂元亨宇、齋藤 彰、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 新規がんペプチドワクチンによる 肝細胞癌の免疫原性の向上と複合免疫療法の提案 一般演題

第49回日本痔切研究会 8/19-8/20 滋賀 琵琶湖ホテル

1. 永野浩昭 ランチョンセミナー2 司会
2. 新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、井岡達也、永野浩昭 80歳以上の高齢者に対する痔頭十二指腸切除術の治療成績 ミニ・オーラル
3. 松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 SMA・SMV 合併切除を併施し原発巣を切除しえた進行 PNET の一例 要望演題

第97回中国四国外科学会総会 第27回中国四国内視鏡外科研究会 9/15-9/16 岡山 倉敷市芸文館

1. 永野浩昭 シンポジウム1 内視鏡手術の教育 座長
2. 武田 茂 イブニングセミナー セッション1 (胃) 座長
3. 鈴木伸明 研修医・専攻医セッション 消化管 (大腸・小腸・肛門) ① 座長
4. 渡邊裕策 一般演題 腹部救急・その他 座長
5. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 腹壁浸潤を伴う盲腸癌に対して術前化学療法後に腹壁合併切除、腹壁再建を施行した1例 一般演題
6. 渡邊裕策、武田 茂、西山光郎、飯田通久、中島千代、山本常則、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、前田訓子、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 食道癌術後再発に対する治療成績 シンポジウム
7. 飯田通久、武田 茂、中島千代、渡邊裕策、西山光郎、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 上部胃癌に対する腹腔鏡下胃全摘+脾摘 要望ビデオ
8. 梅野紘希、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 ニボルマブ投与中に発症したirAE 腸炎に対し腹腔鏡下小腸切除を施行した1例 研修医・専攻医セッション

第76回日本食道学会学術集会 9/24-9/26 (ハイブリッド開催) 東京 京王プラザホテル

1. 西山光郎、武田 茂、渡邊裕策、飯田通久、中島千代、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 6分間歩行が食道切除術の周術期に与える影響について ポスター
2. 渡邊裕策、武田 茂、飯田通久、西山光郎、中島千代、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、永野浩昭 特発性食道破裂 9例の検討 ポスター
3. 武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、中島千代、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 術前化学療法を行う食道癌患者に対する栄養介入の有効性の検討 ポスター

第30回日本がん検診・診断学会総会 9/29-9/30 (WEB開催)

1. 井岡達也、田中幸子 主題5日本消化器がん検診学会 痔癌ハイリスクグループに対する定期的な検診の試み 主題

第81回日本癌学会学術総会 9/29-10/1 神奈川 パシフィコ横浜

1. 中島正夫、恒富亮一、中上裕有樹、玉田耕治、宇高恵子、坂元亨宇、齋藤 彰、安達圭志、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、飯田通久、鈴木伸明、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 新規がんペプチドワクチンによる腫瘍免疫原性の向上と複合免疫療法の提案 腫瘍別シンポジウム
2. 山本常則、恒富亮一、中島正夫、松井洋人、新藤芳太郎、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 大腸癌患者における血中 IL-6 濃度と腫瘍微小環境における免疫抑制状態、予後との関係 一般演題ポスターセッション
3. 恒富亮一、吉村 清、松隈 聡、中島正夫、松井洋人、新藤芳太郎、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 自然免疫抵抗性肝癌幹細胞様 Sphere 細胞におけるエクソソーム分泌 一般口演 Japanese Oral Sessions
4. 徐 明、恒富亮一、清谷一馬、友近 忍、中島正夫、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 転移性大腸癌における T 細胞浸潤および TCR 変動に対する抗 VEGFおよび抗 EGFR 抗体の効果 一般演題ポスターセッション

第58回日本胆道学会学術集会 10/13-10/14 神奈川 パシフィコ横浜会議センター

1. 井岡達也 サテライトセミナー2 胆道癌薬物療法の最前線と今後の展望 座長
2. 井岡達也 指導医養成講座3 化学療法
3. 井岡達也 ランチョンセミナー6 変わりゆく胆道癌治療：がんゲノム診断と個別化治療 ランチョンセミナー

第77回日本大腸肛門病学会学術集会 10/14-10/15 千葉 幕張メッセ 国際会議場

1. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、兼定 航、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 造影 CT 施行不可であった低位前方切除術後の横行結腸癌症例に対して、ICG 蛍光法による中結腸動脈の術中 navigation が有用であった1例 一般演題 (口演)
2. 鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 当科における脾彎曲部結腸癌に対する腹腔鏡下頭側アプローチ先行手技の検討 一般演題 (口演)
3. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 腹壁浸潤を伴う盲腸癌に対して術前化学療法後に腹壁合併切除、腹壁再建を施行した1例 一般演題 (口演)

第60回日本癌治療学会学術集会 10/20-10/22 (ハイブリッド開催) 兵庫 神戸コンベンションセンター

1. 永野浩昭 会長企画シンポジウム1 地域におけるがん医療の課題と展望：均てん化は進んだか？ 司会
2. 松井洋人、井岡達也、徳光幸生、中島正夫、山田健介、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 高齢者切除不能再発癌患者における Frailty の新しい評価の検討 臓器別ワークショップ
3. 武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、中島千代、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 食道癌患者における周術期癌がんリハビリテーションの効果 臓器別ワークショップ
4. 木村祐太、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、前田訓子、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 門脈腫瘍栓を伴う進行肝細胞癌に対する集学的治療 オンコロジーフォーラム
5. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 当科における大腸癌肝転移症例に対する集学的な治療戦略について オンコロジーフォーラム
6. 恒富亮一、吉村 清、木村祐太、西山光郎、松隈 聡、渡邊裕策、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 がんの進展・浸潤に関する肝癌幹細胞様 Sphere 細胞における RAB3B の役割 e ポスター

7. 水野伸匡、上野 誠、井岡達也、尾阪将人、奥坂拓志 高齢者進行膵癌に対する一次化学療法—膵癌診療ガイドライン 2022 臓器別ワークショップ
8. 武富紹信、池田徳彦、日比泰造、永野浩昭、小野 稔、北川雄光、森 正樹 新型コロナウイルス感染症流行下における本邦の外科医療 特別企画 シンポジウム
9. 中村伸子、長谷部晋士、山中伸太郎、藤井知美、藤淵剛次、木谷彰岐、佐藤康史、新藤芳太郎、西庄俊彦、尾崎敏文、田端雅弘、薬師神芳洋 骨軟部腫瘍の治療と予後因子についての考察 e ポスター
10. 吉田 晋、鈴木伸明、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、上野富雄、永野浩昭 術前 GNRI は高齢者大腸癌患者の術後他病死を予測する 一般口演
11. 小佐々貴博、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 当科における病理組織学的 stage II 大腸癌手術症例の再発リスク因子の検討 一般口演

JDDW 2022 第30回日本消化器関連学会週間 10/27-10/30 (ハイブリッド開催) 福岡 マリンメッセ福岡 福岡国際会議場

1. 永野浩昭 デジタルポスターセッション51(肝臓学会) 胆道・その他(臨床研究) 座長
2. 永野浩昭 International Session (Symposium) 5 (消化器外科学会・消化器病学会・消化器内視鏡学会・肝臓学会) 大腸癌遠隔転移に対する外科的切除を中心とした治療戦略 (The role of surgical resection for distant metastasis of colorectal cancer) 司会
3. 徳光幸生、新藤芳太郎、永野浩昭 最新の BCLC 2022 と肝臓診療ガイドラインより考える肝臓 intermediate stage の resectability パネルディスカッション
4. Suzuki N, Ioka T, Nagano H Examination of prognostic risk factors for colorectal cancer patients with liver metastasis and future strategies in our department International Session (Symposium)
5. 飯田通久、武田 茂、中島千代、西山光郎、渡邊裕策、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 高齢者胃癌手術における短期および長期成績に影響を及ぼす予測因子の探索 デジタルポスターセッション
6. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、松井洋人、松隈 聡、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 局所進行直腸癌に対する術前化学療法としての FOLFOXIRI 療法の検討 デジタルポスターセッション
7. 井岡達也 当院における胆道癌診療連携 サテライトシンポジウム

第35回日本外科感染症学会総会学術集会 11/8-11/9 岡山 倉敷市芸文館

1. 武田 茂 シンポジウム6 消化管外科の SSI 座長
2. 丸山 弘、上村健一郎、赤木真治、小林美奈子、松田明久、渡邊 学、井上 透、塩見尚礼、下田 貢、種本和雄、新井洋紀、武田 茂、三宅 亨、間山裕二、横山康行、矢口義久、北川雄光 消化器癌手術における術後感染症が癌予後に与える影響の多施設共同調査—胃癌— 委員会企画 (臨床研究支援委員会)
3. 保田彦彦、松田明久、丸山 弘、赤木真治、井上 透、上村健一郎、小林美奈子、塩見尚礼、渡邊 学、藤田武郎、武田 茂、福井康雄、間山裕二、横山康行、新井洋紀、種本和雄、北川雄光 食道癌手術における SSI 発生は長期予後悪化のリスク因子である - 多施設共同調査 - 委員会企画 (臨床研究支援委員会)
4. 西山光郎、武田 茂、渡邊裕策、飯田通久、中島千代、山本常則、松井洋人、新藤芳太郎、前田訓子、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 食道癌周術期における感染性合併症に対する取り組み シンポジウム
5. 武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、中島千代、山本常則、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 胸腔鏡下食道切除術における術後合併症および長期予後の検討 シンポジウム

第84回日本臨床外科学会総会 11/24-11/26 福岡 福岡国際会議場 マリンメッセ福岡B館

1. 永野浩昭 ワークショップ13 Intermediate stage HCC に対する治療戦略 司会
2. 鈴木伸明 要望演題(口演) 26 縫合不全対策 座長
3. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 Intermediate stage 肝臓の resectability を考える～最新の BCLC 2022 と肝臓診療ガイドラインより～ ワークショップ
4. 松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 ハイリスク膵頭十二指腸切除症例に対する膵管完全外瘻及び二期的再建術の治療成績 一般演題(示説)
5. 池田徳彦、武富紹信、日比泰造、永野浩昭、小野 稔、北川雄光、森 正樹 COVID-19 による外科治療への影響と治療成績に関する考察 ワークショップ
6. 矢ヶ部朗、鈴木有十夢、佐藤哲也、縄田良祐、尤 曉琳、松隈 聡、得能和久、河岡 徹、藤田雄司、宮原 誠、秋山紀雄、山本 滋 出血性ショックをきたした、日本刀による背部切創の1救命例 研修医

7. 新藤芳太郎、徳光幸生、松井洋人、松隈 聡、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 解剖学および生物学的切除可能境界腫瘍に対する術前化学療法の有効性 一般演題（示説）
8. 武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、中島千代、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、友近 忍、前田訓子、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 食道癌患者における周術期リハビリテーションの効果 要望演題（口演）
9. 梅野紘希、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 当科における他臓器浸潤を伴う結腸癌根治手術症例の治療成績 一般演題（示説）
10. 中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 リンパ節転移を伴う肝内胆管癌に対する術前化学療法の検討 ワークショップ
11. 渡邊裕策、吉田 晋、中島千代、中島正夫、西山光郎、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、前田訓子、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 当院における外科医確保と育成の取り組み パネルディスカッション
12. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、兼定 航、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 ストーマ関連合併症回避のための一時的回腸人工肛門造設時における工夫 ビデオシンポジウム
13. 兼定 航、鈴木伸明、吉田 晋、友近忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 当科における直腸癌術後骨盤内局所再発に対する治療成績の検討 一般演題（示説）
14. 鈴木伸明、吉田 晋、友近忍、小佐々貴博、兼定 航、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 閉塞性大腸癌手術症例における大腸ステント留置術の有用性 一般演題（示説）

第35回日本バイオセラピー学会学術集会総会 12/1-12/2 福島 コラッセふくしま

1. 永野浩昭 シンポジウム2 消化器癌における ICI 最前線 座長
2. 恒富亮一 一般演題12 予後予測マーカー（2） 一般演題
3. 中島正夫、恒富亮一、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中上裕有樹、玉田耕治、宇高恵子、坂元亨宇、齋藤 彰、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 免疫チェックポイント阻害剤の治療限界を克服しうる新規がんペプチドワクチンによる腫瘍免疫原性の向上 シンポジウム
4. 山本常則、恒富亮一、中島正夫、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 大腸癌切除例における IL-6 と予後および腫瘍浸潤免疫細胞の関係 一般演題
5. 古谷 圭、中島正夫、恒富亮一、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、渡邊裕策、友近 忍、前田訓子、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、裕 彰一、永野浩昭 大腸癌における血清 Proteinase-3 の検討 一般演題

第35回日本内視鏡外科学会総会 JSES2022 12/8-12/10（ハイブリッド開催）

1. 友近 忍、鈴木伸明、吉田 晋、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、永野浩昭 大腸癌手術時における ICG 蛍光法による術中 navigation の有用性 ミニオーラル
2. 中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 腹腔鏡下再肝切除における Difficulty score と Pringle 法を軸とした治療ストラテジーの確立 一般演題（口演）
3. 西田裕紀、新藤芳太郎、中島正夫、松井洋人、徳光幸生、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 幽門側胃切除後の臍体部癌に対して腹腔鏡下臍体尾部切除術を施行した 1 例 ミニオーラル
4. 鈴木有十夢、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、吉田 晋、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 HALS 肝拡大内側区域切除を行った腰椎腹腔シヤント留置中の肝細胞癌の 1 例 ミニオーラル
5. 武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、中島千代、山本常則、松井洋人、徳光幸生、新藤芳太郎、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、永野浩昭 当科におけるロボット支援下食道切除の検討 ミニオーラル
6. 飯田通久、武田 茂、中島千代、渡邊裕策、西山光郎、山本常則、吉田 晋、友近 忍、新藤芳太郎、徳光幸生、鈴木伸明、永野浩昭 当科における腹腔鏡下胃全摘 D2-No10 郭清 一般演題（口演）
7. 古谷 圭、吉田 晋、鈴木伸明、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 腹腔鏡下直腸固定術後の直腸後壁穿孔に対して腹腔鏡下大網被覆術が有効であった 1 例 ミニオーラル
8. 徳光幸生、永野浩昭、山下洋市、吉住朋晴、久下 亨、七島篤志、黒木 保、井手貴雄、遠藤裕一、宇都宮徹、北原賢二、川崎洋太、迫田雅彦、岡本好司、江口 晋 肝後上領域（S7/8）小肝癌に対する腹腔鏡手術の有用性に関する多施設共同後ろ向き観察研究 シンポジウム
9. 鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、兼定 航、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、飯田通久、武田 茂、永野浩昭 当科における T4b 大腸癌に対する鏡視下手術の成績 一般演題（口演）

第118回日本消化器病学会中国支部例会

第129回日本消化器内視鏡学会中国支部例会 12/10-12/11 (ハイブリッド開催) 山口 KDDI維新ホール

1. 中島正夫 日本消化器病中国支部 第24回専門医セミナー (消化器病学会) 症例1: 肝臓 コメントーター
2. 山岡祐子、末廣 寛、橋本真一、五嶋敦史、山本直樹、鈴木伸明、檜垣真吾、藤井郁英、鈴木千衣子、松本俊彦、友近 忍、吉田 晋、永野浩昭、坂井田功、高見太郎、山崎隆弘 Comparison of two primer-probe sets of *Fusobacterium nucleatum* using droplet digital polymerase chain reaction for the detection of colorectal neoplasia from faecal samples
Droplet digital PCR による便中 *Fusobacterium nucleatum* 測定におけるプライマーの比較検討 一般演題

地方会司会・発表

臨床腫瘍多職種研修会 1/13 山口 山口大学医学部 医修館

1. 井岡達也 司会

第4回山口食道がん研究会 1/19 (ハイブリッド開催) 山口 山口大学医学部霜仁会館

1. 永野浩昭 特別講演 開会挨拶 座長 閉会挨拶
2. 武田 茂 当科におけるロボット支援下食道がん手術の初期経験 一般演題

Yamaguchi Breast Cancer Seminar 2022 1/21 WEB開催

1. 井岡達也 特別講演 座長

第124回山口大学病院がんセミナー 1/26 ZOOM

1. 井岡達也 テーマ：頭頸部癌治療の現状 司会

2022年 山口県消化器がん リモート講演会 1/27 WEB開催

1. 井岡達也 講演Ⅰ 座長
2. 永野浩昭 講演Ⅱ 座長

山口県 外科・救急真菌症カンファレンス 2022 2/3 WEB開催

1. 永野浩昭 ミニレクチャー 座長
2. 武田 茂 当科における消化器外科手術のSSI サーベイランスの検討 ミニレクチャー 講演

Pancreatic Cancer Online Seminar 2/10 岡山

1. 井岡達也 膵癌化学療法の最新動向 特別講演 司会
2. 井岡達也 オニパイドの使用経験について パネルディスカッション コメンテーター

Breast Cancer Web Seminar in YAMAGUCHI-ハラヴェン10年記念講演会- 2/10 WEB開催

1. 永野浩昭 一般講演・特別講演 座長
2. 前田訓子 当科におけるハラヴェンの使用経験 一般講演

第42回九州肝臓外科研究会学術集会 2/19 WEB開催

1. 永野浩昭 主題3 技術の伝承・こだわりの教育法 司会
2. 中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、松隈 聡、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、上野富雄、永野浩昭 高齢肝細胞癌患者に対する治療法の検討 一般演題
3. 松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、古谷 圭、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、碓 彰一、永野浩昭 S7,8 領域 初発肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除術とラジオ波焼 一般演題

第5回山口県外科専門医育成会議 2/26 山口 下関グランドホテル (ハイブリッド開催)

1. 武田 茂 開会挨拶・ビデオメッセージ・総括

将来の乳癌治療を考える会 3/9 ZOOM

1. 永野浩昭 特別講演 座長

第4回山口肝移植診療検討会 3/10 (ハイブリッド開催) 山口 山口大学医学部 医修館

1. 永野浩昭 特別講演 開会挨拶・座長

中外eセミナー on Breast Cancer 3/10 WEB開催

1. 前田訓子 ディスカッション

第3回山口県消化器外科低侵襲治療研究会 3/11 ZOOM

1. 永野浩昭 一般講演・特別講演 座長
2. 飯田通久 当科におけるロボット手術の現状 一般演題

Gastric Cancer Seminar in Yamaguchi 3/30 (ハイブリッド開催) 山口 ANAクラウンプラザホテル

1. 井岡達也 座長

JOIN 2022 Spring in Yamaguchi 4/6 WEB開催

1. 永野浩昭 総合座長

Gastroenterological Cancer Web Seminar in Yamaguchi 4/22 WEB開催

1. 井岡達也 ミニレクチャー 特別講演 座長

第9回山口乳癌研究会 4/27 WEB開催

1. 前田訓子 新専門医制度(乳腺外科専門医)について 講演 ディスカッション

第11回山口膵・胆道疾患研究会 5/17 ZOOM

1. 永野浩昭 一般講演・特別講演 総合座長
2. 松井洋人 山口県の膵癌化学療法について 一般演題

オノ オンコロジーONCOLOGYWEBライブセミナー 5/18 WEB開催

1. 永野浩昭 座長

第4回Surgical Forum in Fukui 5/20 ZOOM

1. 永野浩昭 大腸がん肝転移症例に対する集学的治療戦略 特別講演

第3回山口県がんゲノム医療研究会 5/27 山口 山口グランドホテル

1. 永野浩昭 Session1 一般演題 座長
2. 井岡達也 消化器領域におけるがんゲノム医療の実際 一般演題

第80回山口県臨床外科学会 5/29 山口 萩市総合福祉センター

1. 永野浩昭 特別講演 I 座長
2. 梅野紘希、鈴木伸明、吉田 晋、友近 忍、松井洋人、新藤芳太郎、徳光幸生、渡邊裕策、前田訓子、飯田通久、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 当科における右側結腸病変に対する腹腔鏡下体腔内吻合の取り組み 一般演題
3. 鈴木有十夢、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、飯田通久、吉田 晋、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 腹腔鏡手術を行った腰椎腹腔シャント留置中の肝細胞癌の1例 一般演題
4. 玉木英樹、木村祐太、西山光郎、徳光幸生、合志清隆 細菌感染を伴う軟部組織障害に対する高気圧酸素の併用治療の経験 一般演題

CRC Online Seminar 6/6 WEB開催

1. 井岡達也 山口大学における大腸がん化学療法の実際 特別講演

Oncologyインターネット講演会 みんなでシェア! ~病院におけるirAE体制構築のかなめ~ 6/17 WEB開催

1. 井岡達也 がん免疫薬物療法時代におけるirAE マネジメントチーム連携の実際 講演

第65回関西胸部外科学会学術集会 6/17-6/18 静岡 アクトシティ浜松

1. 武田 茂、飯田通久、渡邊裕策、西山光郎、中島千代、松井洋人、松隈 聡、徳光幸生、新藤芳太郎、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 当科におけるロボット支援下食道切除の初期経験 一般口演
2. 渡邊裕策、武田 茂、飯田通久、西山光郎、中島千代、永野浩昭 特発性食道破裂に対する腹腔鏡アプローチの有用性 一般口演
3. 西山光郎、武田 茂、渡邊裕策、飯田通久、中島千代、松隈 聡、松井洋人、前田訓子、新藤芳太郎、徳光幸生、友近 忍、吉田 晋、鈴木伸明、井岡達也、永野浩昭 食道切除術後の経口摂取量と体重に与える影響について 一般口演

Esophageal Cancer Seminar in Yamaguchi 6/21 山口 山口大学医学部霜仁会館

1. 井岡達也 消化器領域における irAE マネジメントの実際 一般講演

外科教育の現状と展望 in Yamaguchi 6/29 WEB開催

1. 渡邊裕策 山口県における外科教育の現状と展望 ディスカッション

第27回Cancer Forum in Yamaguchi 7/13 (ハイブリッド開催) 山口 ANAクラウンプラザホテル

1. 永野浩昭 特別講演1 化学療法 座長

岩国薬剤師会生涯教育研修会 7/12 ZOOM

1. 井岡達也 胃癌化学療法の Up To Date 特別講演
2. 永野浩昭 特別講演 司会

痛みを考えるWebセミナーがん薬物治療による神経障害 7/13 ZOOM

1. 井岡達也 がん化学療法の進歩と有害事象(神経障害性疼痛)への対応 特別講演

第29回HAGミーティング函館消化器がん化学療法談話 7/15 ZOOM

1. 井岡達也 消化器癌の化学療法 Up To Date ~痔癌を中心に~ 特別講演 講師

肝胆膵エビデンス Update 2022 Summer 7/15 ZOOM

1. 永野浩昭 Opening Remarks
2. 井岡達也 Session1 痔癌 司会

LENVIMA-HCC Seminar in 山口 ~Conversion を目指した肝細胞癌治療~ 7/26 WEB開催

1. 永野浩昭 特別講演 座長

WEB開催 7/28

1. 永野浩昭 肝切除術における局所止血療法のこれまでとこれから

Colorectal Cancer Seminar in 山口 8/1 (ハイブリッド開催) 山口 国際ホテル宇部

1. 井岡達也 特別講演 座長

山口 Cancer Specialist Seminar 8/30 WEB開催

1. 井岡達也 特別講演 座長

Gastric Cancer Seminar in Yamaguchi 9/7 WEB開催

1. 井岡達也 特別講演 座長

Surgery & Kampo 2022 9/8 (ハイブリッド開催) 山口 山口大学医学部 霜仁会館

1. 永野 浩昭 特別講演 座長

Gastric Cancer Seminar in Yamaguchi 9/28 (ハイブリッド開催) 山口 ANAクラウンプラザホテル

1. 井岡達也 特別講演 座長

周南地区大腸癌病診連携セミナー 10/6 (ハイブリッド開催) 山口 スターピアくだまつ

1. 井岡達也 新しい時代の大腸癌薬物治療～最新エビデンスと山口大学の方針～ 特別講演
2. 井岡達也 テーマ:新しい時代の大腸癌治療 ディスカッション パネリスト

Setouchi HBOC Online Seminar 10/17 WEB開催

1. 前田訓子 今後の乳癌術後補助療法について 特別講演

萩市医師会学術講演会 10/21 (ハイブリッド開催) 山口 千春楽別館味楽亭

1. 井岡達也 ゲノム情報を踏まえた最新の消化器がん治療 特別講演

がん患者における疼痛緩和治療 Web Seminar 11/8 WEB開催

1. 井岡達也 胃がん化学療法の進歩と神経障害性疼痛への対応 特別講演

JOIN 2022 Autumn in Yamaguchi 11/8 山口 山口グランドホテル

1. 永野浩昭 Session 座長
2. 前田訓子 Session1 イブランス発売4年を振り返る

山口大腸がんセミナー 11/10 山口 山口大学医学部 霜仁会館

1. 井岡達也 特別講演1 座長
2. 永野浩昭 特別講演2 座長
3. 永野浩昭 クロージング

Biliary Tract Cancer Summit 2022 11/12 WEB開催

1. 井岡達也 Lecture Session 座長
2. 井岡達也 Discussion 司会
3. 井岡達也 Closing Remarks

第5回山口肝移植診療検討会 11/16 山口 山口大学医学部 霜仁会館

1. 永野浩昭 特別講演 開会挨拶 座長

臨床腫瘍多職種研修会 11/17 山口 山口大学医学部 オーティトリウム

1. 井岡達也 講演 司会

第12回山口膵・胆道疾患研究会 11/22 ZOOM

1. 永野浩昭 特別講演 座長

第16回肝臓内視鏡外科研究会・第14回膵臓内視鏡外科研究会 11/23 福岡 福岡国際会議場

1. 徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫、渡邊裕策、友近 忍、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、永野浩昭 教室における胆嚢板牽引法を応用した肝門部 Glissonian approach による腹腔鏡下肝 S8 亜区域切除術 主題関連演題
2. 徳久晃弘、中島正夫、徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、吉田 晋、飯田通久、鈴木伸明、武田 茂、井岡達也、永野浩昭 Difficulty score と Pringle 法を軸とした腹腔鏡下再肝切除における治療ストラテジー 一般演題

Esophageal Cancer Seminar in Yamaguchi 11/29 山口 山口大学医学部 霜仁会館

1. 永野浩昭 一般講演・特別講演 座長
2. 武田 茂 食道癌に対するロボット支援下手術 一般講演

第4回千葉肝がんフォーラム 11/30 (ハイブリッド開催) 千葉 オークラ千葉ホテル

1. 永野浩昭 講演2

Scientific Exchange Meeting～胆道癌治療の unmet needs を考える～ 12/10 ZOOM

1. 永野浩昭 Session1 座長
2. 井岡達也 Session3 座長

第24回山口県病院薬剤師会 がん薬物療法専門薬剤師育成セミナー 12/12 WEB開催

1. 井岡達也 新しい食道癌薬物療法－エビデンスの捉え方とマネジメントのコツ－ 特別講演

第20回山口県消化管セミナー 12/14 山口 ANAクラウンプラザホテル

1. 永野浩昭 座長

山口県消化器癌リモート講演会 12/15 WEB開催

1. 永野浩昭 座長

第6回山口消化管内視鏡外科研究会 12/21 WEB開催

1. 永野浩昭 特別講演2 座長

Scientific Exchange Meeting 2022 胆道がん集学的治療戦略を再考する 12/26 ZOOM

1. 永野浩昭 座長
2. 永野浩昭 胆道がん集学的治療戦略を再考する (Discussion) 司会

研究費取得状況

(2022年12月31日時点)

種別	事業名	研究者名	代表・分担	交付額	研究課題名
科研費	基盤研究(C)	吉田 晋	代表	1,000,000	CyTOFによる大腸腫瘍浸潤CD4+FOXP3+細胞の解析と予後因子としての役割
科研費	基盤研究(C)	裕 彰一	代表	1,200,000	消化器癌の遺伝子変異に由来する腫瘍抗原ペプチドの同定と新規免疫療法の開発
科研費	基盤研究(C)	鈴木 伸明	代表	1,000,000	大腸癌に対するFOLFOXIRI療法における副作用診断チップの開発
科研費	基盤研究(C)	友近 忍	代表	1,600,000	抗EGFR抗体は大腸癌を"Hot tumor"に変えることができるか
科研費	基盤研究(C)	徐 明	代表	1,100,000	大腸癌肝転移に関する癌細胞由来マイクロRNAの役割と制御するメカニズムの解明
科研費	基盤研究(C)	恒富亮一	代表	800,000	肝がんのがん幹細胞性獲得と免疫監視逃避における細胞間コミュニケーションの解析
科研費	基盤研究(C)	武田 茂	代表	800,000	膵癌に化学療法副作用関連バイオマーカーの探索と診断チップの開発
科研費	若手研究	新藤芳太郎	代表	1,000,000	肝細胞癌術前がん免疫療法症例の腫瘍浸潤リンパ球を用いた抑制性免疫の解明
科研費	若手研究	松隈 聡	代表	1,000,000	術前腫瘍量因子と血清メチル化遺伝子による肝癌予後予測システムの構築
科研費	若手研究	兼清 信介	代表	1,300,000	術後肝内再発抑制法開発に向けた肝癌幹細胞特異的なHLA抗原ペプチドの同定
科研費	若手研究	渡邊 裕策	代表	1,400,000	独自に誘導した食道癌幹細胞様細胞を用いた食道癌治療抵抗性の解析
科研費	若手研究	徳光 幸生	代表	1,400,000	個別化診療を見据えた膵癌克服のための癌幹細胞と腫瘍微小環境に関する研究
科研費	若手研究	中島 正夫	代表	1,800,000	腫瘍および宿主両面からみた複合バイオマーカー探索にもとづく膵癌個別化治療への展開

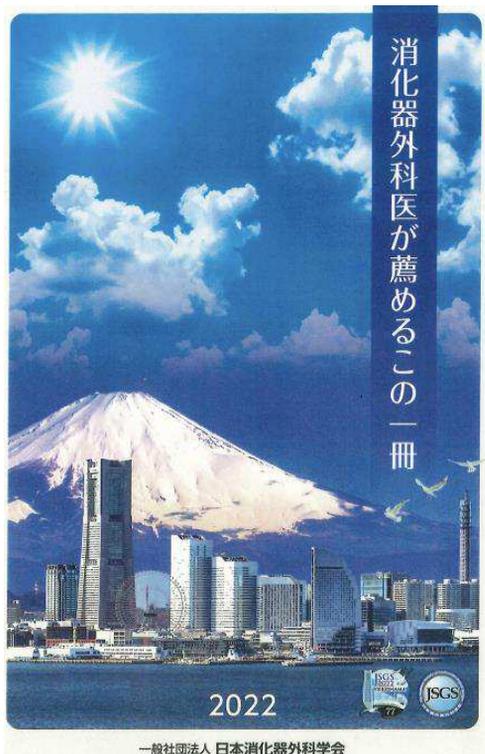
業績その他

2022 メディア

- ① 週刊朝日 MOOK 手術数でわかるいい病院 2022年3月10日発行 (通巻275号) がん薬物療法 乳がん手術 食道がん手術 肝がん治療 膵がん手術 胃がん手術 井岡達也 松井洋人 前田訓子 武田 茂 渡邊裕策 永野浩昭 徳光幸生 新藤芳太郎 飯田通久
- ② Club Kirara MAGAZINE VOL. 73 2022年4月~2022年6月 山口県がん治療最前線 最近、抗がん剤治療が大きく変わりました 井岡達也
- ③ Club Kirara MAGAZINE VOL. 74 2022年7月~2022年9月 山口県がん治療最前線 内視鏡外科技術認定医について 飯田通久
- ④ Club Kirara MAGAZINE VOL. 75 2022年10月~2022年12月 山口県がん治療最前線 がん治療を成功させるために重要なこと 井岡達也
- ⑤ 読賣新聞 2022年10月19日発行 安心の設計 病院の実力 肝臓がん 進行前は手術・焼灼 薬物療法 免疫治療併用で効果 永野浩昭
- ⑥ 朝日新聞 2022年10月25日発行 対談 多様な症例に応じた高度な外科手術と、適切な術前・術後化学療法による集学的治療 胆道がん 永野浩昭 井岡達也
- ⑦ 消化器外科医が薦めるこの一冊 第77回日本消化器外科学会総会 一般社団法人日本消化器外科学会 第77回日本消化器外科学会総会 一般社団法人日本消化器外科学会 2022年 炎環 永井路子 著 文藝文庫 永野浩昭



中国・四国		2020年 手術数	2019年 手術数	2018年 手術数	2017年 手術数	2016年 手術数	所在地 電話番号	常勤 医数	主な医師名
1	広島大学病院	139	134	114	36	25	6 23 広島 広島市南区 082-257-5555	10	大隈秀樹 小林 剛
2	高知医療センター	101	136	41	0	60	0 5 高知 高知市 088-637-3000	4	岡林雄大 須井健太
3	愛媛県立中央病院	93	82	66	33	27	20 64 愛媛 松山市 089-947-1111	7	大谷広美 渡邊常太
4	山口大学病院	77	8	62	33	15	10 14 山口 宇部市 0836-22-2111	9	永野浩昭 徳光幸生
5	福山市民病院	76	73	44	34	32	66 62 広島 福山市 084-941-5151	3	真森 裕 門田一晃
6	岡山大学病院	75	78	36	14	39	12 108 岡山 岡山市北区 086-223-7151	5	八木孝仁 榎田祐三
6	市立広島市民病院	75	89	50	18	25	8 73 広島 広島市中区 082-221-2291	4	松川啓義 佐藤太祐
8	倉敷中央病院	72	89	49	48	23	23 26 岡山 倉敷市 086-422-0210	10	橋田和樹 武藤 純
9	岡山済生会総合病院	63	76	39	17	24	10 72 岡山 岡山市北区 086-252-2211	3	仁熊健文 児島 亨
10	県立広島病院	60	50	37	3	23	1 8 広島 広島市南区 082-254-1818	2	中原英樹 濱岡道則



炎環

永井路子 著
文藝文庫



永野 浩昭
山口大学大学院
消化器・腫瘍外科学

この国では、蘇我馬子・物部守屋の戦いによる宗教革命に続く、二度目の革命に位置付けられている東国武家政権 鎌倉幕府の誕生、清和源氏の嫡流をその象徴に担ぎ上げたものの27年で直系の三代目を失う。「炎環」はその実明暗後の謎に一石を投じた第52回直木賞受賞作である。私自身の購読は高校1年生、受賞から12年後の45年前。恐らくはフィクションがないままになった三浦一族と公卿との濃密な人間関係の中で、そこそこが真実なのかと感じさせる永井路子版説。女流作家らしい文章の繊細さと文脈から見える意志の強さの中に秘めた当時への思い、おもわず引き込まれ著者の他作品を読みふけたあの頃がなつかしい。きしく今年のNHK大河ドラマは、同一テーマ、親友であり好敵手でもある盟友、三浦義村と北条義時は、いかに演じられるのか？ 45年前を思い返しなが、白髪頭が悲しい単身赴任の毎日の中で、あらためて文庫本を買いたおした。

Clinical and research conference

2022.1.22 - winter

時間		全体進行係：飯田通久 先生
7:30-7:33	1. 教授挨拶	永野浩昭 教授
7:33-8:48	2. 各診療グループ報告	司会：鈴木伸明 先生
	上部消化管グループ	武田 茂 先生
	下部消化管グループ	鈴木伸明 先生
	肝胆膵グループ	徳光幸生 先生
	乳腺・内分泌グループ	前田訓子 先生
	腫瘍センター	井岡達也 先生
8:50-18:00	3. Clinical and Research Conference	午前司会：武田 茂 先生 午後司会：鈴木伸明 先生
	関矢まり	Retrospective Study on Clinical Characteristics and Treatment Patterns of Elderly Breast Cancer Patients
	太田啓介	Anti-tumor efficacy of CAR-T cells against cancer organoids.
	徳久晃弘	Study of mechanisms of gemcitabine resistance in biliary-tract-cancer
	古谷 圭	Search for biomarkers of colon cancer chemotherapy
	千々松日香里	Search for biomarkers of colorectal cancer chemotherapy by comprehensive protein analysis of serum samples
	兼定 航	Prediction of adverse events of triplet chemotherapy (FOLFIRINOX therapy and FOLFOXIRI therapy) by genetic polymorphisms for precision medicine
	鄭 桓宇	Examination of the role of phosphorylation of Paxillin in cancer metastatic ability
	木村祐太	Evasion from immune surveillance in cancer stem-like cells derived from a hepatoma cell line
	近藤潤也	The effect of prolonged fixation on the immunohistochemical evaluation and fluorescence in situ hybridization results of HER2 expression in advanced gastric cancer
	藤原康弘	Preliminary analysis of neoadjuvant FOLFOXIRI for Locally advanced colorectal cancer
	徐 明	Overexpression of miRNAs in the cancer is associated with malignant potential in colorectal cancer.
	山田健介	Changes in liver and spleen volumes during neoadjuvant FOLFOXIRI /mFOLFIRINOX therapy
	中島正夫	Overcoming therapeutic resistance of α PD-1ab against solid tumor through combined novel peptide-vaccination and α PD-1ab
	西山光郎	Usefulness of prophylactic minitracheostomy and broad spectrum antibiotic after esophagectomy
	松隈 聡	Portal vein thrombosis after laparoscopic liver resection
	松井洋人	Development of novel risk prediction system for postoperative pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy
	新藤芳太郎	Safety and feasibility of pancreaticoduodenectomy in octogenarians
	徳光幸生	①Novel laparoscopic approaches as the total biopsy methods for suspected gallbladder cancer ②The efficacy of laparoscopic liver resection for small hepatocellular carcinoma located in the hepatic dome.
	渡邊裕策	Low skeletal muscle index is a predictor of postoperative pneumonia
	友近 忍	Surgical techniques for advanced transverse colon cancer using the cranial approach of the transverse mesocolon
	前田訓子	Preoperative diagnosis of SLN metastasis using CT-lymphography
	吉田 晋	Preoperative factors associated with death of other causes in elderly patients with colorectal cancer
	飯田通久	Area Under the CRP Curve (AUCrpC) may be a reliable indicator of survival after radical gastrectomy
	恒富亮一	Reorganization of our research for the next.
	鈴木伸明	Analysis of perioperative factors of ≥ 80 -year-old colorectal cancer patients versus non-elderly patients
	武田 茂	Efficacy of nutrition intervention combined neoadjuvant chemotherapy for Esophageal Cancer
	渡邊考啓	Future plan
	小佐々 貴博	Future plan
	金城尚樹	Future plan
18:00-18:10	4. 総括	永野浩昭 教授 「2021年の研究・総括」

研究者発表会議

2022.7.16 - summer

時間	全体進行係： 飯田通久 先生
8:30~8:33	1. 開会の言葉 永野浩昭 教授
8:33~15:21	2. 研究者発表会議 司会：武田 茂先生(前半)、鈴木伸明先生(後半)
前田訓子	Preoperative diagnosis of SLN metastasis using CT-lymphography
徳光幸生	Novel laparoscopic approaches as the total biopsy methods for suspected gallbladder cancer
小佐々 貴博	Future Plan
太田啓介	Anti-tumor efficacy of CAR-T cells against cancer organoids.
徳久晃弘	Study of mechanisms of gemcitabine resistance in biliary-tract-cancer
古谷 圭	Search for biomarkers of colon cancer chemotherapy
兼定 航	Association between a single nucleotide polymorphism in the R3HCC1 gene and irinotecan toxicity
鄭 桓宇	Examination of the role of phosphorylation of Paxillin in cancer metastatic ability
徐 明	Overexpression of miRNAs in the cancer is associated with malignant potential in colorectal cancer.
山田健介	Preliminary analysis of mid- to long-term prognosis after neoadjuvant chemotherapy for colorectal cancer liver metastasis followed by resection
中島正夫	Overcoming therapeutic resistance of aPD-1ab against solid tumor through combined novel peptide-vaccination and aPD-1ab
西山光郎	Usefulness of prophylactic minitracheostomy and broad spectrum antibiotic after esophagectomy
鈴木伸明	Analysis of perioperative factors of ≥80-year-old colorectal cancer patients versus non-elderly patients
近藤潤也	The effect of prolonged fixation on the immunohistochemical evaluation and fluorescence in situ hybridization results of HER2 expression in advanced gastric cancer
山本常則	IL-6 levels correlate with prognosis and immunosuppressive stromal cells in patients with colorectal cancer
木村祐太	Evasion from immune surveillance in cancer stem-like cells derived from a hepatoma cell line
松井洋人	Development of novel risk prediction system for postoperative pancreatic fistula after pancreaticoduodenectomy
新藤 芳太郎	Staging laparoscopy in pancreatic cancer
渡邊裕策	Low skeletal muscle index is a predictor of postoperative pneumonia
友近 忍	Real-time Vessel Navigation Using Indocyanine Green Fluorescence during Laparoscopic Colorectal Cancer Surgery
吉田 晋	Risk factors for non-colorectal cancer-related death after curative colectomy in patients aged 80 years or older
飯田通久	Predictors of postoperative infectious complications after gastrectomy for the elderly
武田 茂	Efficacy of nutrition intervention combined neoadjuvant chemotherapy for Esophageal Cancer
15:25-15:40	3. 総括 永野浩昭 教授 「着任後5年間（臨床）と今後の展望」

学位取得者報告

藤原康弘 平成22年卒



私の研究のテーマは私の研究テーマは、Calreticulinを高発現した膵癌幹細胞様細胞と免疫逃避に関連です。教室では、これまでに膵癌細胞株から独自の方法にて誘導した膵癌幹細胞様細胞が幹細胞性を示すことを報告してきました。本研究では膵癌幹細胞様細胞が多様な幹細胞性を示すだけでなく、細胞表面タンパクの発現が変化することで免疫逃避に働いている可能性があることを示唆しました。本研究が癌幹細胞研究の一助となれば幸いです。

御指導・御指南いただいた永野教授をはじめ、論文作成においてご指導いただいた恒富先生、実験を始めた当初からご指導いただいた吉村先生、松隈先生、研究が行き詰まったときに親身になってご指摘くださった先生方、細胞の管理をしてくれた佐野さんをはじめ研究助手の方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

新入局者あいさつ

梅野紘希 令和2年卒



令和4年度入局の梅野紘希と申します。出身は山陽小野田市で慶進中学・高等学校を経て鳥取大学医学部に入学し、令和2年度に卒業しました。在学時の実習で感じた外科に対する憧れに加え、母校の消化器外科の先生に頂いたご恩もあり消化器外科医になる決心をしました。初期研修の2年間は徳山中央病院で過ごし、ご縁のあった山口大学消化器腫瘍外科学講座に入局致しました。入局後1年間は大学病院で各班をローテーションし、研鑽を積ませていただきました。令和5年度4月からは宇部興産中央病院で勤務をさせていただいています。昨年度に引き続き生まれ育ったこの宇部の街で働く喜びを感じるとともに、さらに山口の外科医療に貢献できるように精進して行く所存です。まだまだ未熟者ではございますが、今後ともご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。

木原ひまわり 令和2年卒



令和4年に入局させて頂きました木原ひまわりと申します。出身は宮崎県で、令和2年に山口大学医学部を卒業しました。山口県立総合医療センターで2年間の初期臨床研修を行い、令和4年は関門医療センター、この度令和5年4月から都志見病院で勤務させていただいております。関門医療センターでは緊急手術を含む多くの手術執刀を経験させて頂くと共に、急性期から終末期医療と幅広く患者さんと携わらせて頂きました。現在は都志見病院にて1症例1症例を大事に外科医としての研鑽を積むと共に、地域医療として、かかりつけ医としての役割を全う出来るよう誠心誠意努めていく所存です。

患者さんとその家族に寄り添った医療を忘れず、温かい医師を目指して日々精進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

佐藤哲也 令和2年卒



令和3年4月に山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科に入局させていただきました、佐藤哲也と申します。令和2年に山口大学を卒業後、徳山中央病院にて2年間の初期研修を終了し、継続して1年徳山中央病院にて勤務させていただきました。現在は下関医療センターにて勤務させていただいております。

小学3年生の時に父親の仕事の関係で、福岡県から縁もゆかりもない山口県に引っ越してきました。博多弁を使う私に周りの同級生は興味津々で、すぐに多くの友人ができました。公園でサッカーをしたり、鬼ごっこをしたり、川で泳いだりと楽しい日々を過ごすうちに山口県のことが次第に好きになっていきました。気づけば山口大学に進学し、20年ほど山口県に住んでおります。学生時代から外科医への憧れが芽生え、初期研修では1年間外科中心にローテーションさせていただきました。外科医の先輩方と過ごす中で、仕事量や勉強量の多さに圧倒された時もありましたが、そんな先輩方への憧れは日に日に強くなり、私も外科医になることを決心いたしました。ご指導いただいた先生方には心から感謝しております。まだまだ未熟者ではありますが、山口県の医療に貢献できるよう日々精進いたします。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

新入局者あいさつ

原口大希 令和2年卒



令和4年度入局の原口大希と申します。令和2年に山口大学医学部を卒業し、山口県岩国医療センターで2年間の初期臨床研修を行いました。大学時代に過ごしたこの山口県の自然豊かな風土に魅了され、また外科医として山口県で働きたいと思い、令和4年度より山口大学消化器腫瘍外科学講座に入局させていただきました。同年より萩市の都志見病院に外科レジデントとして勤務し、外科疾患のみならず、内科疾患など幅広い疾患を経験し、診療の難しさや興味深さを実感いたしました。令和5年度より徳山中央病院に勤務させていただきます。一症例を大切に、考えながら手術や診療を行おうと決意しております。趣味は映画鑑賞、プロ野球、甲子園、座右の銘は「目の前のことを一生懸命に」です。目標は外科に関して山口県全域で世界基準の医療を提供することです。

在籍教室員

(2022年12月31日時点)

教授・診療科長

氏名：永野浩昭（岡山大学医学部 昭和61年卒）
専門：消化器外科、肝胆膵外科、移植外科

准教授（腫瘍センター）

氏名：井岡達也（日本大学医学部 平成2年卒）
専門：化学療法、集学的治療

診療准教授・副科長

氏名：武田 茂（山口大学医学部 平成3年卒）
専門：上部消化管外科、食道外科

講師・病棟医長

氏名：鈴木伸明（愛媛大学医学部 平成7年卒）
専門：下部消化管外科

講師

氏名：恒富亮一（山口大学農学部 平成16年卒）
専門：癌の分子生物学

助教・医局長

氏名：飯田通久（山口大学医学部 平成11年卒）
専門：上部消化管外科、胃外科

助教・外来医長

氏名：前田訓子（島根大学医学部 平成12年卒）
専門：乳腺・内分泌外科

助教（手術部）

氏名：友近 忍（山口大学医学部 平成13年卒）
専門：下部消化管外科

助教

氏名：渡邊裕策（山口大学医学部 平成15年卒）
専門：上部消化管外科、食道外科

助教

氏名：徳光幸生（宮崎医科大学医学部 平成16年卒）
専門：肝胆膵外科

助教

氏名：新藤芳太郎（山口大学医学部 平成16年卒）
専門：肝胆膵外科

助教

氏名：松井洋人（山口大学医学部 平成17年卒）
専門：肝胆膵外科

助教（集中治療部）

氏名：西田 裕紀（山口大学医学部 平成28年卒）

学術研究員

氏名：徐 明（中国 大連医科大学 平成15年卒）

診療助教

氏名：西山光郎（長崎大学医学部 平成19年卒）
専門：上部消化管外科、食道外科

診療助教

氏名：中島正夫（山口大学医学部 平成21年卒）
専門：肝胆膵外科

診療助教

氏名：中島千代（山口大学医学部 平成22年卒）
専門：上部消化管外科、胃外科

診療助教

氏名：山田健介（山口大学医学部 平成22年卒）
専門：腫瘍内科

診療助教

氏名：鍋屋まり（山口大学医学部 平成26年卒）

診療助教

氏名：渡邊孝啓（山口大学医学部 平成26年卒）

診療助教

氏名：兼定 弦（山口大学医学部 平成27年卒）

診療助教

氏名：堤 甲輔（山口大学医学部 平成29年卒）

診療助教

氏名：佐伯 晋吾（山口大学医学部 平成30年卒）

大学院生

氏名：山本常則（山口大学医学部 平成22年卒）

大学院生

氏名：木村祐太（鹿児島大学医学部 平成22年卒）

大学院生

氏名：太田啓介（山口大学医学部 平成25年卒）

大学院生

氏名：兼定 航（山口大学医学部 平成25年卒）

大学院生

氏名：徳久晃弘（山口大学医学部 平成25年卒）

大学院生

氏名：古谷 圭（山口大学医学部 平成25年卒）

大学院生

氏名：鄭 桓宇（中国遼寧何氏医学院 平成26年卒）

大学院生

氏名：小佐々 貴博（山口大学医学部 平成27年卒）

学会専門医、指導医、役員リスト

(2022年12月31日時点)

日本外科学会

専門医：

永野浩昭、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、前田訓子、友近 忍、渡邊裕策、徳光幸生、新藤芳太郎
松井洋人、西山光郎、中島正夫、山田健介、中島千代、山本常則、徳久晃弘、太田啓介、兼定 航、
古谷 圭、小佐々 貴博、兼定 弦、西田 裕紀

指導医：

永野浩昭、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、渡邊裕策、徳光幸生、新藤芳太郎

代議員：

永野浩昭、武田 茂

日本消化器外科学会

専門医：

永野浩昭、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、友近 忍、渡邊裕策、徳光幸生、新藤芳太郎
西山光郎、中島正夫、山田健介、中島千代、山本常則、山田健介、徳久晃弘、兼定 航
古谷 圭、小佐々 貴博、兼定 弦、西田 裕紀

指導医：

永野浩昭、武田 茂、鈴木伸明、飯田通久、吉田 晋、渡邊裕策、徳光幸生、新藤芳太郎

理事・評議員：

永野浩昭

日本消化器病学会

専門医・指導医：

永野浩昭、井岡達也

学会評議員：

井岡達也

執行評議員：

永野浩昭

日本癌治療学会

臨床試験登録医：

永野浩昭

理事・代議員：

永野浩昭

日本癌学会

評議員：

永野浩昭、恒富亮一

日本臨床外科学会

評議員：

永野浩昭、武田 茂、鈴木伸明

日本内視鏡外科学会

技術認定医：

武田 茂（食道）、鈴木伸明（大腸）、飯田通久（胃）、徳光幸生（肝臓）、中島正夫（肝臓）、中島千代（胃）

評議員：

永野浩昭

日本胃癌学会

代議員：

永野浩昭、武田 茂、飯田通久

日本食道学会

認定医：

武田 茂、西山光郎

専門医：

武田 茂、西山光郎

評議員：

永野浩昭、武田 茂

日本肝胆膵外科学会

高度技能専門医：

新藤芳太郎

評議員：

徳光幸生、新藤芳太郎、松井洋人、中島正夫

高度技能指導医・理事・評議員：

永野浩昭

日本肝臓学会

専門医：

永野浩昭、徳光幸生

指導医・専門医：

永野浩昭、徳光幸生

評議員：

永野浩昭

日本胆道学会

指導医・評議員：

永野浩昭、井岡達也

日本膵臓学会

指導医・評議員：

永野浩昭、井岡達也

日本乳癌学会

認定医・専門医・評議員：

前田訓子

日本腹部救急医学会

腹部救急認定医：

徳光幸生、徳久晃弘

評議員：

永野浩昭

日本外科感染症学会

Infection Control Doctor

外科周術期感染管理認定医

評議員：

武田 茂

日本臨床腫瘍学会

がん薬物療法専門医・指導医・協議員：

井岡達也

がん薬物療法専門医：

松井洋人

日本がん治療認定医機構

認定医：

永野浩昭、井岡達也、武田 茂

前田訓子、渡邊裕策、徳光幸生

西山光郎、中島千代、山本常則

日本消化器内視鏡学会

消化器内視鏡専門医・指導医：

井岡達也

日本消化器がん検診学会

代議員・認定医（肝胆膵）・指導医：

井岡達也

日本腫瘍循環器学会

評議員：

井岡達也

2022年 年間行事



向日葵（山陽小野田市）

1月 互礼会



永野浩昭教授から新年のご訓示後に、各班のチーフの先生よりご挨拶いただきました。



武田 先生
(上部消化管)



鈴木 先生
(下部消化管)



前田 先生
(乳腺・内分泌)



井岡 先生
(抗癌剤治療担当)



裕 先生
(研究担当)

1月 Clinical & Research conference



新年、新たな気持ちで今年のご目標・抱負を表明！
各々から研究発表を行いました。



吉田先生の外科教育の取り組みの発表



永野教授の2022年度のご訓示

3月 第3回 Clinical Cadaver Surgical Training



永野教授



篠田教授
(神経解剖学講座)



吉田先生



浅井教授のDxを使用したご指導



武田先生の胸腔鏡操作のご指導



医師・学生ともに有意義な実習になりました。お疲れ様でした。

3月 送別会



裕先生⇒周南記念病院



松隈先生⇒徳山中央病院



木村先生⇒セントヒル病院



藤原先生⇒小野田赤十字病院



金城先生⇒宇部興産中央病院



新天地でのご活躍とご健勝を祈念いたします。

4月 新体制発足



セントヒル病院より
山本先生が赴任



宇部興産中央病院より
山本先生が赴任



都志見病院より
西田先生が赴任



徳山中央病院より
鈴木先生が赴任



新入局員の梅野先生



新年度の永野先生のご挨拶

5月 青山会総会 (WEB配信)

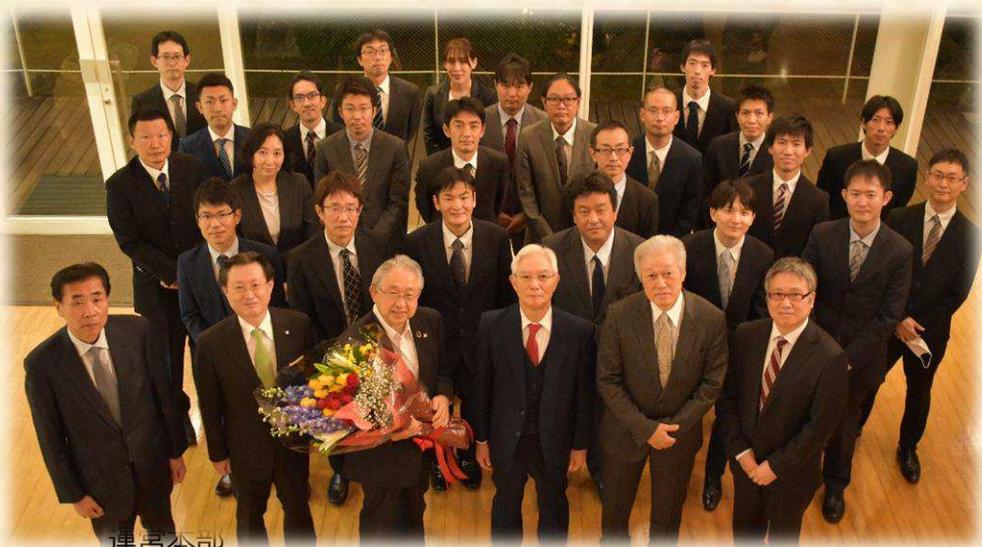


コロナ禍のため青山会初のWEB配信による開催

桑原先生が青山会賞を受賞されました。



山口大学長の岡正朗先生の学長退官記念講演が行われました。



連呂本部

6月 キャリアナビゲーション



医学部生を対象に第二外科の医局説明を行いました。

6月 早期外科実習

医学部2年生の必修カリキュラムとして
結紮、縫合など早期外科実習を行いました。



将来一人でも多くの外科医が増えることを願っています。



7月 研究者発表会議 & 医局納涼会



永野先生のご挨拶



上半期の臨床・研究の成果報告



発表会議も終わり、みなさん盛り上がっていました。



永野教授もご満悦でした！

9月 送別会



永野先生から吉田先生、鈴木先生へのお言葉



吉田先生⇒関門医療センター



鈴木先生⇒下関医療センター



吉田先生、大学勤務本当にお疲れ様でした。

11月 医局説明会



研修医、学生に向けて医局説明会を行いました。



勧誘隊長の西山先生をはじめ、兼定弦先生、新入局員の梅野先生からの医局説明



山口の未来外科を若い力で支えて行ってくれることを期待しています。

ゲスト写真集



丸橋 繁 先生（福島県立医科大学）



岡野 圭一 先生（香川大学）



河野 浩二 先生（福島県立医科大学）



進藤 潤一 先生 (虎の門病院)



江畑 智希 先生 (名古屋大学)



吉住 朋晴 先生 (九州大学)



吉波 哲大 先生 (大阪大学)



沖 英次 先生 (九州大学)



山崎 誠 先生 (関西医科大学)



上野 秀樹 先生 (防衛医科大学)

新型コロナウイルス感染を考慮し
下記の各イベントは残念ながら中止となりました。

5月：医局説明会

7月：医局旅行

7月：消化器外科学会 現地同門会

12月：医局忘年会

新型コロナウイルス 対策中

当院は患者様とスタッフの健康を守るため
ウイルスに対する安全策を積極的に行っております



スタッフの
マスク着用



手洗いの徹底



院内の除菌消毒



定期的な換気

感染しない・感染させない

一人一人の心がけが世界を救います

新型コロナウイルス感染拡大が1日でも早く収束に向かい
すべてのイベント開催を行えることを願っています。

編集後記

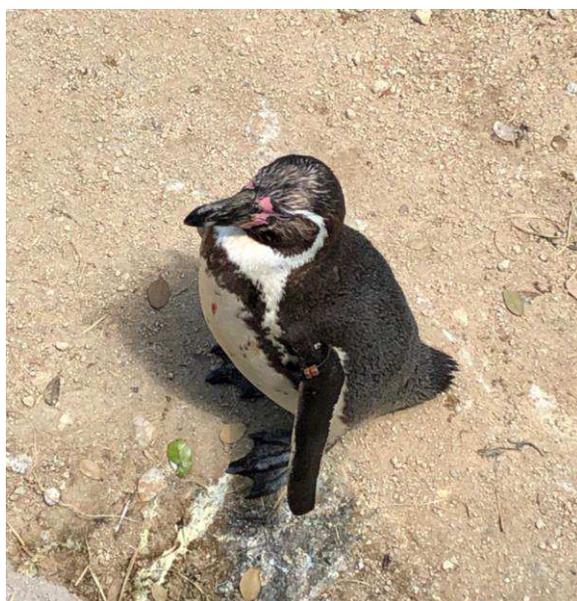
2022年も「新型コロナウイルス」による影響は大きかったが、2023年に入りほどなくして落ち着きを見せ始めた。5月8日より感染症法上の「5類」に引き下げられたことによって、我々の生活に大きな影響を及ぼしたコロナ対応は「平時」へ移行すべく大きな節目を迎えつつあるが、「Withコロナ/Afterコロナ」時代に起こる環境の変化と必要な備えとは何であろうか？

先の「新型コロナウイルス」の感染拡大を受けたテレワークや外出自粛要請によって生まれた、ビジネスや個人消費などのあらゆる活動データのオンライン化・デジタル化の流れとデータの蓄積が、AI化にとって大きな追い風になっていることはイメージが付きやすい。すでにChatGPTなる、オリジナルのテキストを生成することが出来る対話型AIサービスが短期間で急速な進歩を遂げ、連日メディアを騒がせている。実際にGPT-4はアメリカの司法試験で上位10%に入る成績を叩き出しているそうだ。どこか他人事であった「AI」が、急速に人間との距離感を縮めてきていると「今」感じているのは、むしろアンテナが低いのかもかもしれない。すでに様々な分野でのAI応用が進んでいるが、特にChatGPTを代表とする「生成系AI」が生み出すものに関して、すでに人が予見できない事態が生じ始めており法整備も含め対策が急ピッチで進められている。コロナがひと段落つきつつある今だからこそ、膨大なデータの蓄積とAIの性能向上を軸とした社会変動が目に見える形で急速に進みつつあると肌で感じざるを得ない。

そのような時代の中、これからの外科医に求められるものは何だろうか。AIと対話？し、ロボットを駆使して築き上げる「Surgical Society 5.0」とでも名付けられそうな新時代が到来するのだろうか？全国的にも医師の高齢化が著しい山口県において、我々はそのような社会に対応できるのだろうか？いずれにしても、やがて来る未来に向けて我々外科医にはさらなる「想像力」と「創造力」が求められそうだ。

令和5年5月

徳光 幸生



市立しものせき水族館 海響館（下関市）

山口大学大学院医学系研究科
消化器・腫瘍外科学 教室年報：2022

令和5年5月発行

発行 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学

編集責任者 徳光幸生

編集委員 中島正夫 徳久晃弘 堤 甲輔

TEL : 0836-22-2264

FAX : 0836-22-2263

ホームページ : <http://www.yamadai-gesurgery.jp/>